

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



データで見る

「誰も取り残されない愛知」を実現するための

愛知県の人間の安全保障指標

NPO法人「人間の安全保障」フォーラム



愛知指標プロジェクトメンバー

- 高須幸雄 「人間の安全保障」フォーラム理事長
- 峯陽一 JICA緒方貞子平和開発研究所所長/同志社大学教授
- 及川幸彦 奈良教育大学 ESD・SDGsセンター副センター長
- 川村真也 中部大学 中部高等学術研究所 特任講師
- 石本めぐみ NPO法人ウイメンズアイ代表理事(宮城県南三陸町)
- 宮下大夢 名城大学准教授/「人間の安全保障」フォーラム事務局長
- 山崎真帆 東北文化学園大学助教/「人間の安全保障」フォーラム事務局次長



目次

1. SDGsの理念と人間の安全保障指標 …P2
2. 『全国データ:SDGsと日本』
から見た愛知県の課題 …P3
3. 愛知県の人間の安全保障指標一覧 …P4
4. 人間の安全保障指数の計算方法 …P7
5. 愛知県の人間の安全保障指数 …P9
6. データからわかること …P15
7. 提言「誰も取りのされない愛知」を
実現するために …P16
8. 愛知県の個別課題
 - 子ども …P17
 - 教育 …P18
 - 女性 …P19
 - 外国人 …P20
 - 防災 …P21
9. 愛知県内市町村の優先課題 …P22

1. SDGsの理念： 誰も取り残されない世界

(持続可能性)

(一人一人の尊厳)



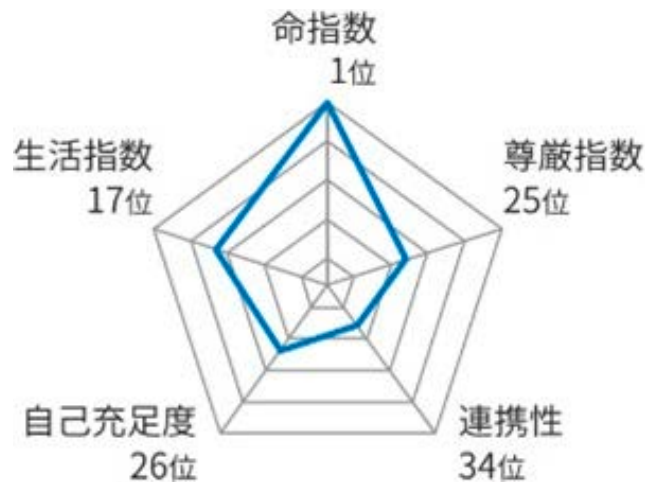
なぜ人間の安全保障指標が必要か？

- (1) SDGsは、環境や経済の持続可能性だけではなく、「誰も取り残されない」社会に向けて、一人一人の尊厳が問われている。
- (2) SDGs 17目標・247指標の達成が最終目的ではない。理念へ向かう一つの道筋でしかない。
- (3) 日本(先進国)では、SDGs指標をモニターするだけではSDGsの理念は達成されない。
- (4) 国レベルで進展状況を確認するだけでは十分ではない地域社会ごとの優先課題を可視化して、取り組むことが求められる。

2. 『全国データ SDGsと日本』： 愛知県の人間の安全保障指数

総合指数： 全国第10位

●人口753.9万人(4位)
●面積5171Km²(27位)
命指数は全国トップ。しかし、生活指数、尊厳指数は中位。
主観的な自己充足度は中位だが、社会的連携性(34位)がやや弱い。



命指数：健康年齢(男性3位、女性1位)。
人口増加率、生産年齢人口割合が高い。
一人あたり病院、病床、医師数が少ない。

生活指数：県民所得、財政力指数は高いが、可処分所得は中位。
障がい者雇用率、女性の雇用率、ひとり親の正規雇用率、
高齢者有業率が低い。

不登校率が高い：小学生の不登校7408人(千人あたり18.4人)、
中学生の不登校13367人(64人)(2022年度)。
一人あたり温室効果ガス排出量が多い。

尊厳指数：弁護士、女性の地方議員の割合が高い。刑法犯認知件数、
DV被害者の一時保護件数が多い。

子どもの自殺数が多い：20歳未満の自殺55人(2022年)。

トップクラス：(全国1位)女性の健康年齢、ケースワーカーの担当世帯数が少ない、技能実習生数(全国2位)県民所得、財政力指数、自然災害死者・行方不明者数が少ない、自殺死亡率が低い、虫歯罹患率が低い

優先課題：(全国47位)NPO団体数、(全国46位)障がい者雇用率、
子どもの自殺数、(全国45位)病院数、病床数の増加、子どもの運動能力の向上、(全国44位)不登校率

3. 愛知県の人間の安全保障指標一覧 命指標(23指標)

*印：数値が低い（少ない）方が高位

A.生命（13指標）	A1	平均寿命（男性） 平均寿命（女性）
	A2	人口増減率(2020年と2015年の比較)
	A3	合計特殊出生率
	A4	0歳から14歳の子どもの数
	A5	生産年齢人口割合（15歳-64歳人口）（男女別）
	A6	未婚率（50歳時）*
	A7	若年女性の流出率(国勢調査 2020年-2015年)*
	A8	高齢化率（2020年）*
	A9	高齢単身世帯割合*
	A10	ひとり親世帯の子供の割合*
	A11	自殺死亡者数（人口1万人あたり）*
	A12	自然災害の死者・行方不明者数（2002年—2022年の合計、人口千人あたり）*
	A13	交通事故死傷者数(人口千人あたり)*

B.健康（10指標）	B1	一般病院・診療所数（人口千人あたり）
	B2	医師の数(人口千人あたり)
	B3	1人あたり医療費(過去4年平均)*
	B4	国保加入者の特定健康診査（メタボ健診）実施率
	B5	国民健康保険一人あたり納付額*
	B6	子どもの医療費補助(助成内容で比較)
	B7	3歳児の虫歯などによる喪失歯数*
	B8	障がい者数(人口千人あたり）（指数計算に算入しない）
	B9	自治体の禁煙対策
	B10	有酸素運動の実践者の割合(男性・女性)

生活指標(49指標)

*印：数値が低い（少ない）方が高位

C.経済・産業・雇用 (14指標)	C1	1人あたり市町村民所得（年額）	E.福祉（10指標）	E1	児童養護施設の数
	C2	1世帯あたり購買額（月額）		E2	児童相談件数 （5年間、人口千人あたり）*
	C3	所得300万円未満の世帯 （単身世帯を除く）の割合*		E3	生活保護受給率（人口千人あたり）*
	C4	国民年金保険料の全額免除者の割合*		E4	生活保護のケースワーカーの担当世帯数*
	C5	市町村別労働生産性		E5	介護保険料（1人あたり年額基準額）*
	C6	市町村別の農漁業生産高		E6	要介護・支援認定者割合 （65歳以上人口）*
	C7	市町村別 愛知県地域再生計画認定数		E7	要介護認定者に占める要介護3以上の割合*
	C8	完全失業率*		E8	老人ホーム等の高齢者用施設数 （65歳以上人口）
	C9	雇業者に占める正規雇業者の割合		E9	介護サービス従事者数 （75歳以上人口千人あたり）
	C10	女性人口に占める就業者の割合		E10	介護事業者の求人充足率
	C11	女性の就業者に占める正規雇業者の割合	F1	日照時間	
	C12	自治体の障がい者雇用率	F2	1人あたりCO2の排出量*	
	C13	高齢者有業率 （65歳以上、対老年人口）	F3	再生可能エネルギーの発電量	
	C14	財政力指数	F4	住宅の高齢者設備の有無	
D.教育（9指標）	D1	小学校児童数（教員1人あたり）*	F5	1住宅あたりの住宅延べ面積	
	D2	中学校生徒数（教員1人あたり）*	F6	持ち家世帯の比率	
	D3	高校生徒数（教員1人あたり）*	F7	自動車保有台数（1人あたり）	
	D4	就学援助の受給率*	F8	コンビニエンスストアの数 （人口千人あたり）	
	D5	1人あたり教育費	F9	空き家率 （住宅・土地統計調査）*	
	D6	大学進学率 （指数計算に含めない）	F10	汚水処理率	
	D7	ユネスコスクール（加盟校比率）	F11	自然災害による住居被害*	
	D8	ESD教育の取り組み （チームの評価）	F12	消防団員の充足率	
	D9	小中学校のICT教育の環境	F13	防災拠点となる公共施設等の耐震化率	
			F.自然・生活環境 (16指標)	F14	避難所の1ヶ所あたりの人口*
				F15	飲酒運転 違反件数 （免許人口1万人あたり）*
				F16	刑法犯罪認知件数（千人あたり）*

尊厳指標(27指標)

*印：数値が低い（少ない）方が高位

G.尊厳（6指標）

- G1 子どもの虐待相談件数(5年間、人口千人あたり) *
- G2 こどもの居場所（児童館）の数（子ども千人あたり）
- G3 未成年者の自殺率*
- G4 女性の自殺率*
- G5 男性自治体職員の育児休業取得率
- G6 LGBTQのパートナーシップ制度の有無

H.公への信頼・ジェンダー（7指標）

- H1 国政・知事選挙投票率
- H2 市町村議会の女性議員の割合
- H3 市町村議会でのジェンダー平等(チームの評価)
- H4 市町村管理職の女性の割合
- H5 防災会議の女性の割合
- H6 自治会長に占める女性の割合
- H7 中小企業の若手経営者団体に占める女性の割合（青年会議所のデータ）

J.地域の連帯（12指標）

- J1 自治体の移住定住・観光の魅力のアピール(チームの評価)
- J2 指定文化財の件数（人口千人あたり）
- J3 公民館数（人口1万人あたり）
- J4 お祭りなど地域催事の数(人口千人あたり)
- J5 NPO団体数（人口千人あたり）
- J6 外国人人口（人口千人あたり）
- J7 20歳未満の外国人数の割合
- J8 不就学の可能性がある学齢期の外国人の子どもの数*
- J9 日本語指導が必要な児童生徒数*
- J10 外国人留学生(実数)（指数化しない）
- J11 技能実習生数(人口千人あたり)
- J12 自分の住む地域に外国人が増えることを歓迎する割合

K.満足度（2指標）

- K1 自分の人生に満足していない人の割合*
- K2 自分の人生が将来今より良くなると思わない人の割合*

4. 人間の安全保障指数の計算方法

総合指数、命指数、生活指数、尊厳指数

自治体レベルで比較するための指数の算出には、国連開発計画の人間開発指数の算出方式に基づき、命指標（23）、生活指標（49）、尊厳指標（27）に関連する項目の自治体別の統計データの正規化をし、1から0の変数に置き換えた。

「出生率」のように、高い数値が望ましい指標に関しては、最大値を1、最小値を0にする正規化をした。

「自殺死亡率」のように、低い数値が望ましい指標に関しては、最小値を1、最大値を0にする正規化をした。

指数を集計し、その平均値により、各自治体の**命指数、生活指数、尊厳指数**を算出した。上記3指数を統合した平均値により**総合指数**を算出した。

主観的な評価（自己充足度）

愛知県民（2730人）に対して、インターネットによるアンケート調査を実施した（2023年2月）。個々人の人生観に関する設問において、「自分の人生に満足していない」、「自分の将来が今より良くなるとは思わない」、「自分が誇りに思うことは何もない」と回答した人の割合の平均値を、自治体別に算出した。

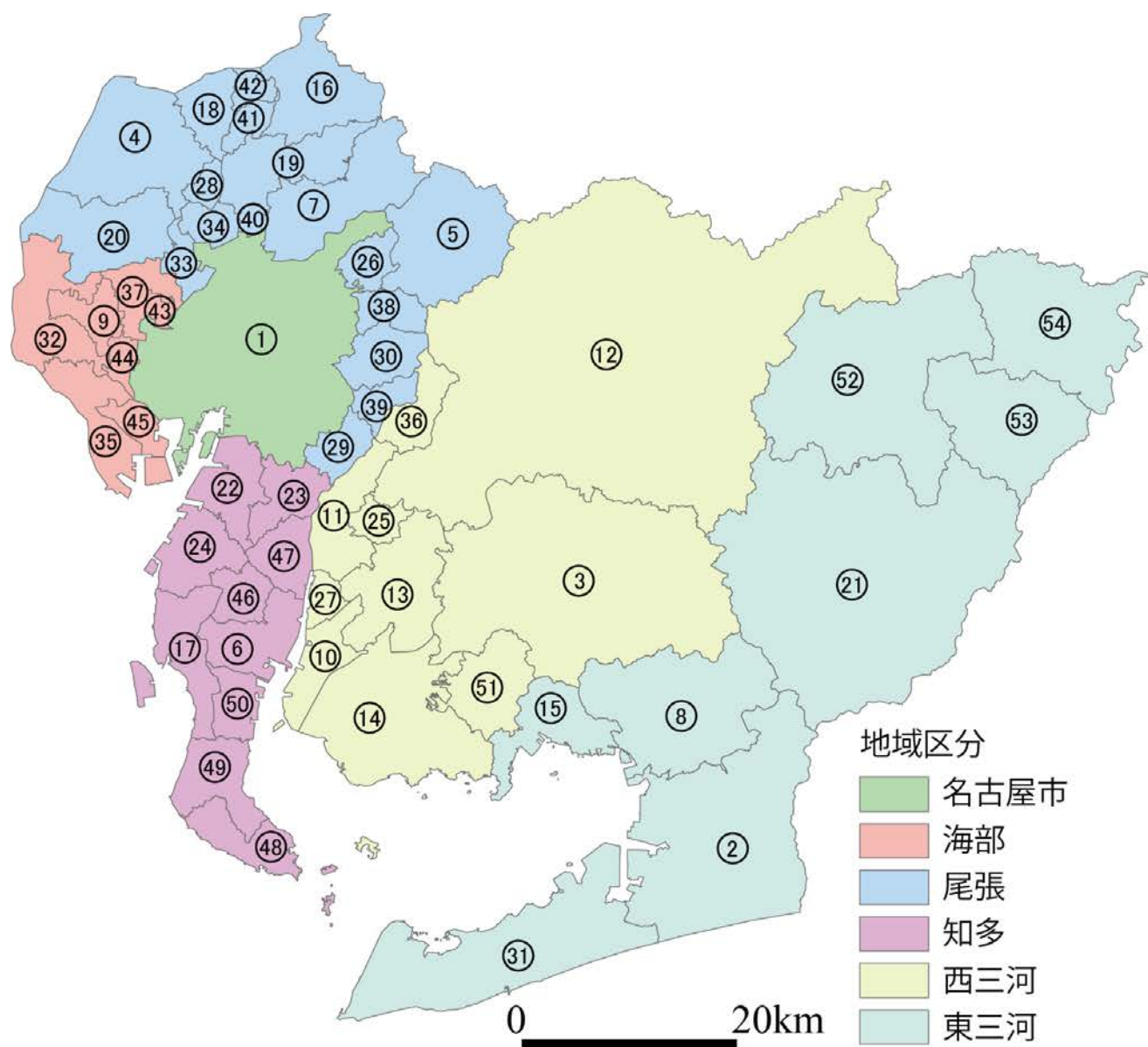
この平均値の数字が低い自治体ほど、住民の自己評価が相対的に高い、すなわち自己充足度が強いと考えられる。

主観的な評価（社会的な連携性）

上記のアンケート調査の連携性に関する設問で、「孤独でつらい」、「困ったときに相談する人が誰もいない」、「人を助けたことはない」と回答した人の割合の平均値を、自治体別に算出した。

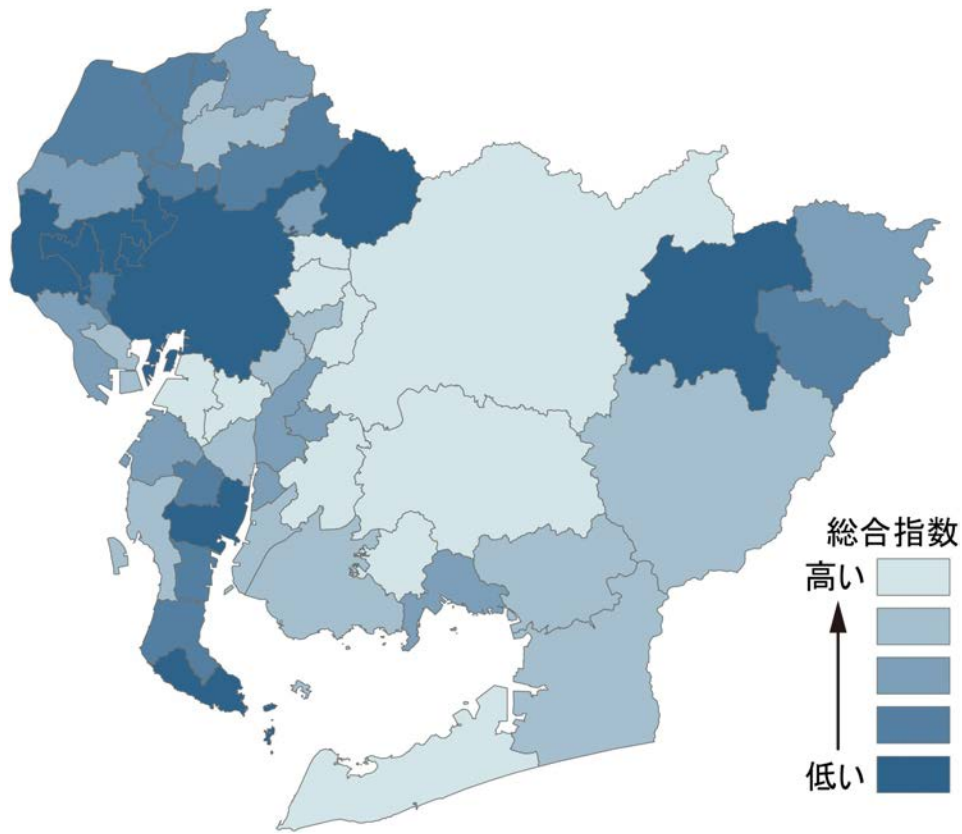
この平均値が低い自治体ほど、住民の間の社会的連携が強いと考えられる。

愛知県の市町村



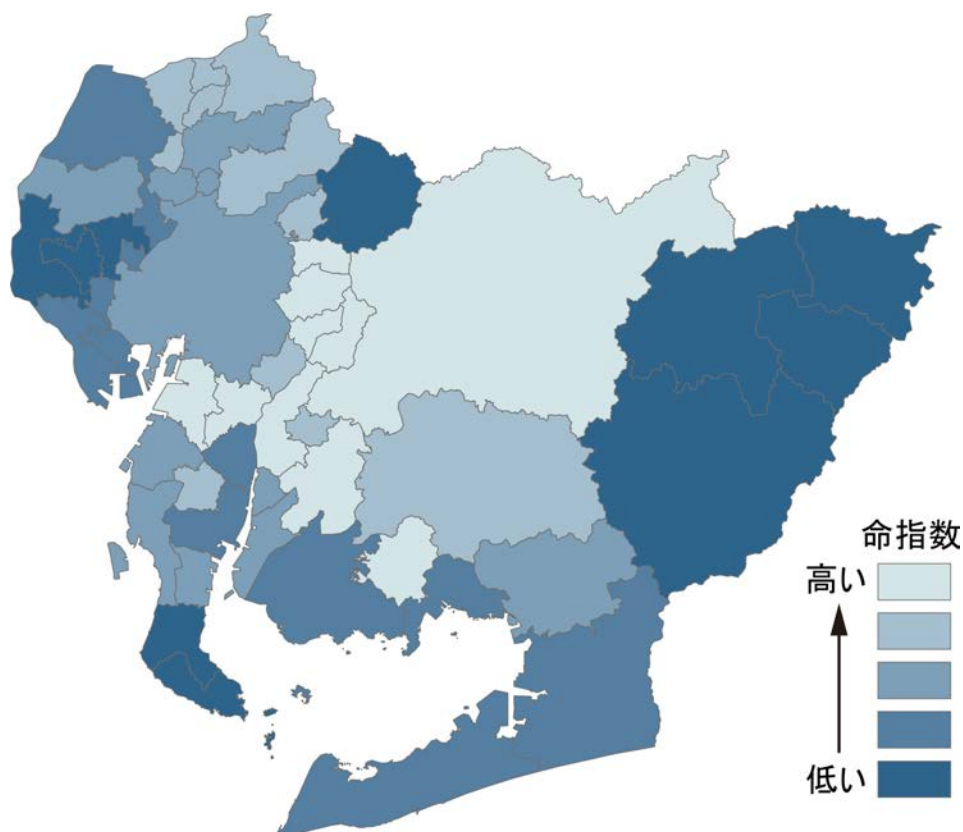
- | | | | |
|---------|----------|-----------|----------|
| 1. 名古屋市 | 15. 蒲郡市 | 29. 豊明市 | 43. 大治町 |
| 2. 豊橋市 | 16. 犬山市 | 30. 日進市 | 44. 蟹江町 |
| 3. 岡崎市 | 17. 常滑市 | 31. 田原市 | 45. 飛島村 |
| 4. 一宮市 | 18. 江南市 | 32. 愛西市 | 46. 阿久比町 |
| 5. 瀬戸市 | 19. 小牧市 | 33. 清須市 | 47. 東浦町 |
| 6. 半田市 | 20. 稲沢市 | 34. 北名古屋市 | 48. 南知多町 |
| 7. 春日井市 | 21. 新城市 | 35. 弥富市 | 49. 美浜町 |
| 8. 豊川市 | 22. 東海市 | 36. みよし市 | 50. 武豊町 |
| 9. 津島市 | 23. 大府市 | 37. あま市 | 51. 幸田町 |
| 10. 碧南市 | 24. 知多市 | 38. 長久手市 | 52. 設楽町 |
| 11. 刈谷市 | 25. 知立市 | 39. 東郷町 | 53. 東栄町 |
| 12. 豊田市 | 26. 尾張旭市 | 40. 豊山町 | 54. 豊根村 |
| 13. 安城市 | 27. 高浜市 | 41. 大口町 | |
| 14. 西尾市 | 28. 岩倉市 | 42. 扶桑町 | |

5. 愛知県の人間の安全保障指数 総合指数



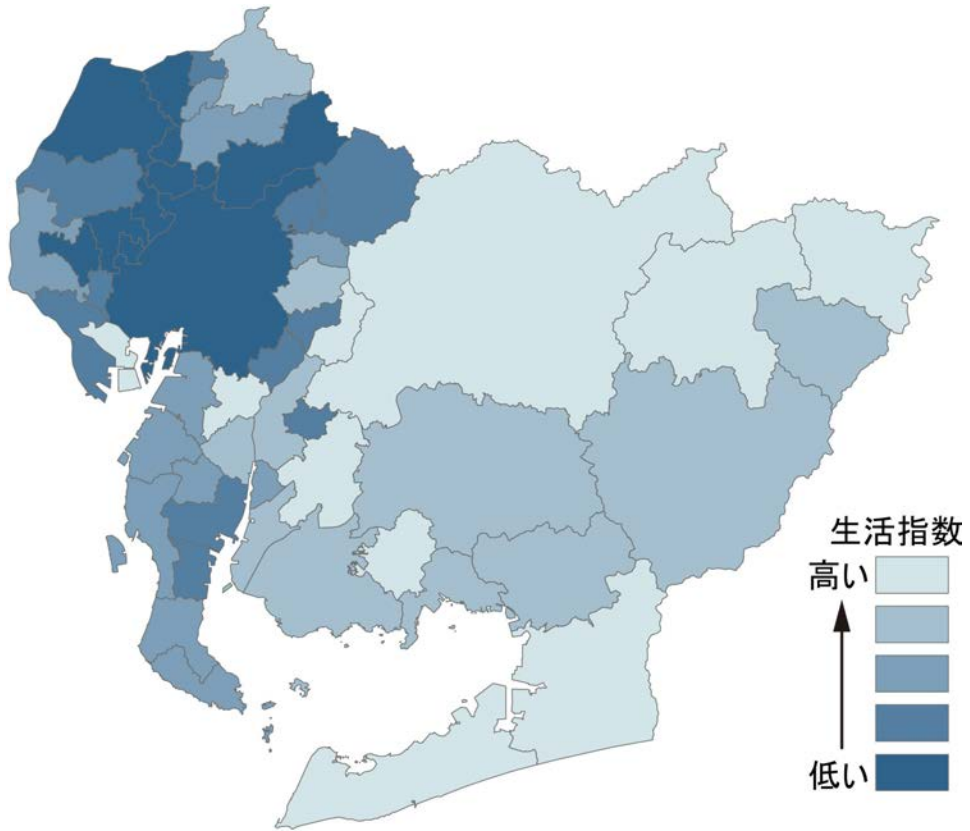
順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数
1	大府市	0.566	19	東浦町	0.480	37	岩倉市	0.452
2	日進市	0.548	20	西尾市	0.479	38	武豊町	0.449
3	長久手市	0.545	21	常滑市	0.478	39	北名古屋市	0.445
4	田原市	0.542	21	東郷町	0.478	40	春日井市	0.443
5	みよし市	0.531	23	刈谷市	0.475	41	一宮市	0.440
6	豊田市	0.511	24	蒲郡市	0.474	41	江南市	0.440
7	幸田町	0.510	24	知多市	0.474	43	蟹江町	0.439
8	東海市	0.501	26	犬山市	0.472	43	美浜町	0.439
8	安城市	0.501	27	高浜市	0.470	45	半田市	0.437
10	岡崎市	0.497	28	尾張旭市	0.464	45	名古屋市	0.437
11	豊明市	0.493	28	稲沢市	0.464	45	瀬戸市	0.437
12	小牧市	0.489	30	弥富市	0.461	48	設楽町	0.436
12	豊橋市	0.489	31	豊根村	0.460	49	清須市	0.432
14	豊川市	0.488	32	知立市	0.458	50	愛西市	0.431
15	新城市	0.486	33	阿久比町	0.456	51	大治町	0.413
16	飛島村	0.484	34	扶桑町	0.455	52	南知多町	0.402
17	碧南市	0.482	35	東栄町	0.454	53	あま市	0.394
18	大口町	0.481	36	豊山町	0.453	54	津島市	0.393

命指数



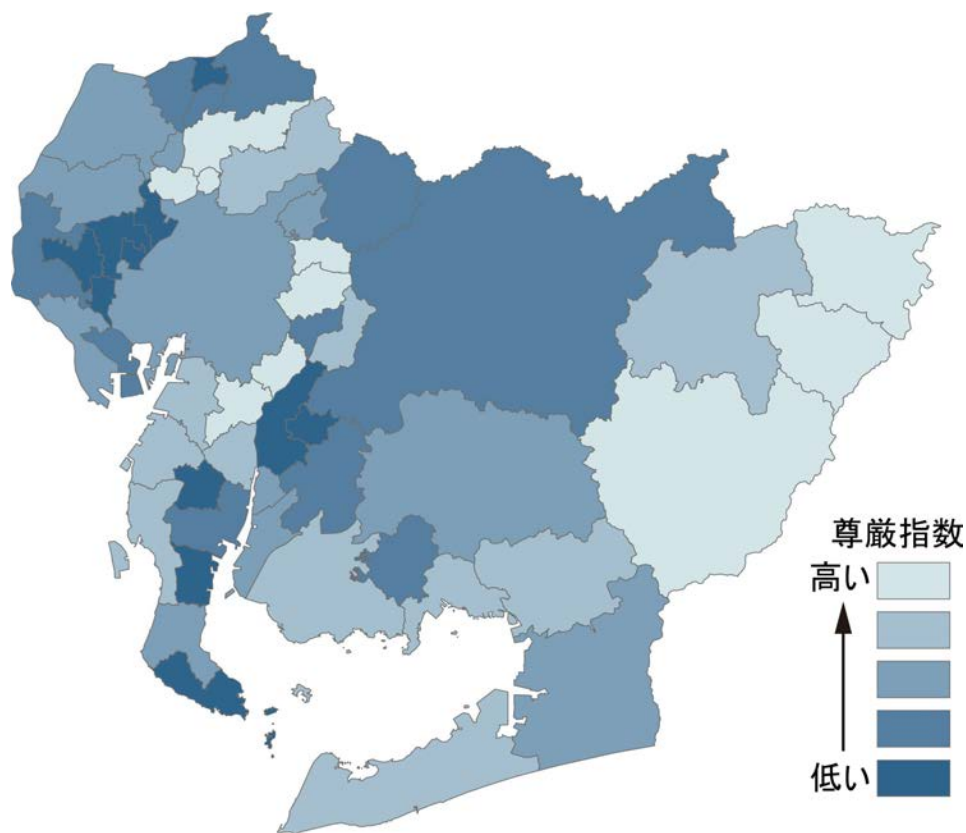
順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数
1	長久手市	0.762	19	知立市	0.576	37	東浦町	0.535
2	日進市	0.729	20	江南市	0.574	38	飛島村	0.525
3	大府市	0.715	21	春日井市	0.573	39	田原市	0.523
4	安城市	0.645	22	小牧市	0.568	40	西尾市	0.522
4	みよし市	0.645	23	常滑市	0.564	41	蟹江町	0.518
6	幸田町	0.635	24	稲沢市	0.563	42	一宮市	0.513
7	東郷町	0.634	25	名古屋市	0.561	43	半田市	0.508
8	東海市	0.633	26	北名古屋市	0.558	43	蒲郡市	0.508
9	刈谷市	0.625	26	豊山町	0.558	45	瀬戸市	0.505
10	豊田市	0.624	28	武豊町	0.557	46	あま市	0.486
11	尾張旭市	0.617	29	知多市	0.556	47	新城市	0.483
12	大口町	0.607	30	碧南市	0.551	48	愛西市	0.442
13	扶桑町	0.605	31	豊川市	0.550	49	美浜町	0.438
14	岡崎市	0.595	32	高浜市	0.549	50	津島市	0.430
15	豊明市	0.590	33	大治町	0.547	51	東栄町	0.392
16	阿久比町	0.582	34	豊橋市	0.546	52	豊根村	0.381
17	岩倉市	0.580	35	清須市	0.544	53	南知多町	0.357
18	犬山市	0.577	36	弥富市	0.537	54	設楽町	0.350

生活指数



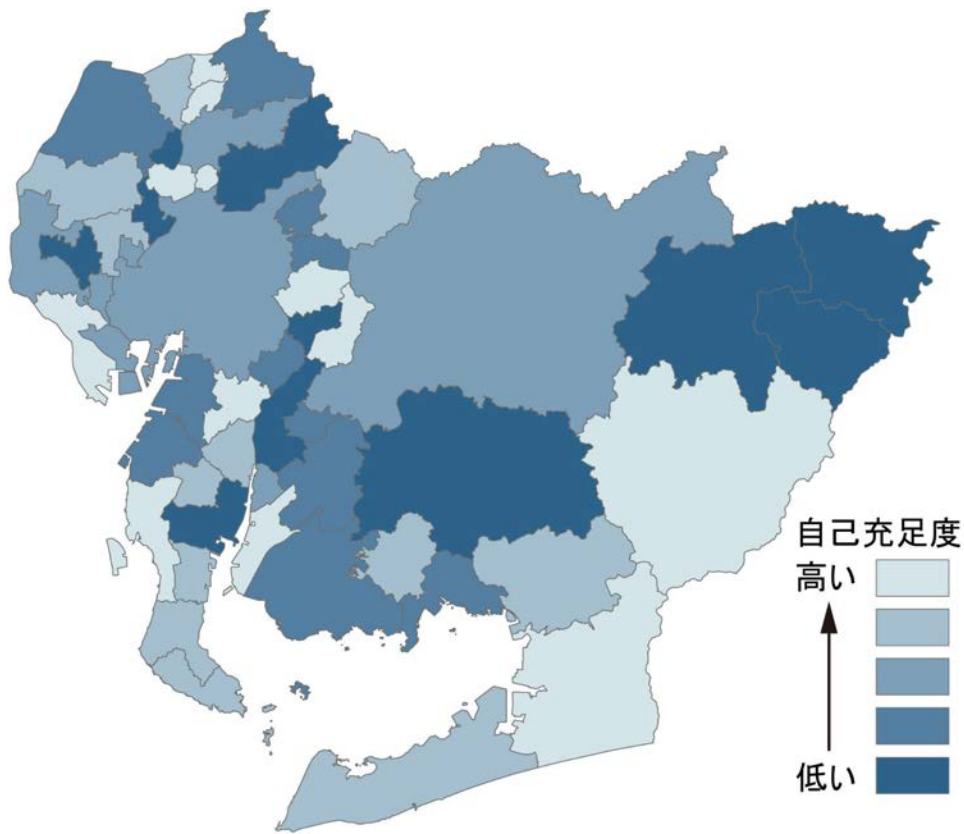
順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数
1	田原市	0.610	18	蒲郡市	0.482	37	稲沢市	0.448
2	豊根村	0.522	20	刈谷市	0.479	38	蟹江町	0.444
3	飛島村	0.521	21	犬山市	0.476	39	豊明市	0.441
4	大府市	0.519	22	小牧市	0.468	40	半田市	0.440
5	幸田町	0.518	23	阿久比町	0.467	41	瀬戸市	0.438
6	みよし市	0.517	24	東海市	0.466	42	扶桑町	0.436
7	豊田市	0.516	24	常滑市	0.466	43	尾張旭市	0.421
8	豊橋市	0.508	24	長久手市	0.466	44	一宮市	0.416
9	設楽町	0.504	24	大口町	0.466	45	清須市	0.411
10	安城市	0.491	28	愛西市	0.465	46	江南市	0.410
11	岡崎市	0.490	29	高浜市	0.462	47	津島市	0.409
12	東栄町	0.489	30	美浜町	0.461	48	岩倉市	0.408
13	日進市	0.488	30	南知多町	0.461	49	豊山町	0.398
13	豊川市	0.488	32	知多市	0.457	50	春日井市	0.387
15	西尾市	0.487	33	弥富市	0.455	51	名古屋市	0.383
15	碧南市	0.487	34	知立市	0.454	51	北名古屋市	0.383
15	新城市	0.487	34	東郷町	0.454	53	あま市	0.380
18	東浦町	0.482	36	武豊町	0.453	53	大治町	0.380

尊厳指数



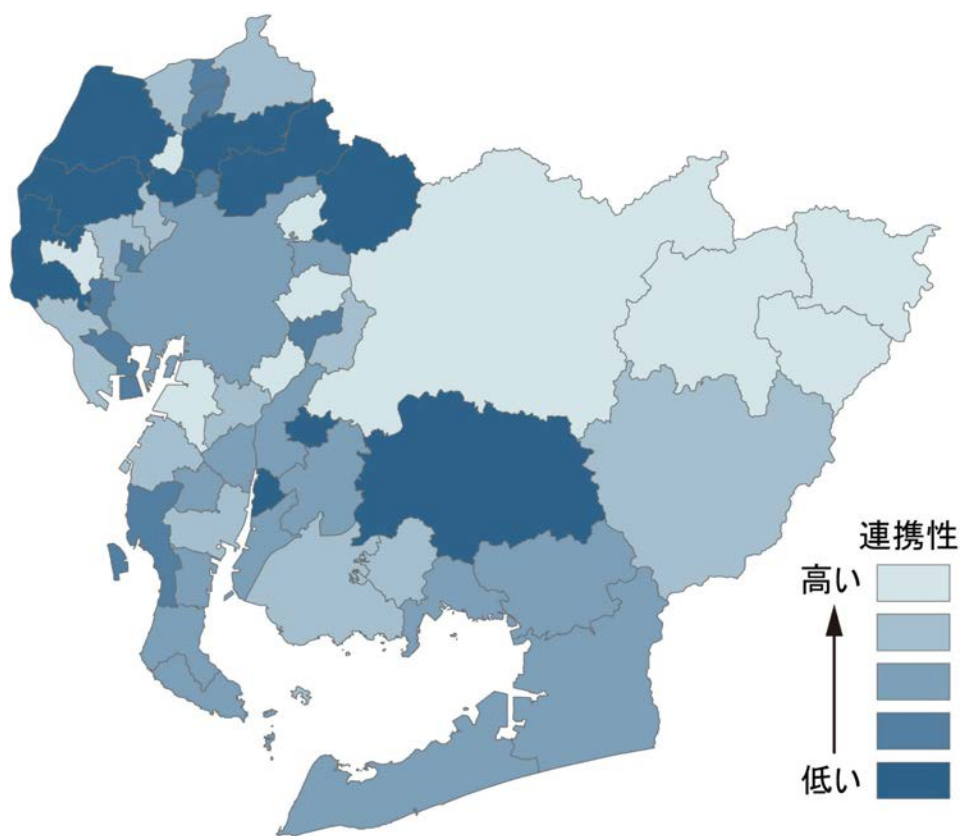
順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数
1	大府市	0.505	19	設楽町	0.416	37	幸田町	0.371
2	豊明市	0.491	20	常滑市	0.415	38	東郷町	0.367
3	新城市	0.487	21	春日井市	0.414	39	瀬戸市	0.366
4	日進市	0.478	22	岡崎市	0.412	40	半田市	0.362
5	長久手市	0.474	22	一宮市	0.412	41	犬山市	0.361
6	東栄町	0.465	24	名古屋市	0.411	41	江南市	0.361
7	小牧市	0.448	25	高浜市	0.406	43	愛西市	0.359
8	豊根村	0.446	26	碧南市	0.405	44	清須市	0.357
9	北名古屋市	0.445	27	岩倉市	0.404	45	蟹江町	0.352
9	豊山町	0.445	28	美浜町	0.398	46	知立市	0.346
11	みよし市	0.441	29	弥富市	0.396	47	南知多町	0.342
12	田原市	0.435	30	豊橋市	0.395	48	大治町	0.338
13	東海市	0.434	30	稲沢市	0.395	49	扶桑町	0.337
14	豊川市	0.427	32	尾張旭市	0.393	50	武豊町	0.333
15	蒲郡市	0.426	33	飛島村	0.389	51	津島市	0.329
16	知多市	0.424	34	豊田市	0.387	52	あま市	0.327
17	東浦町	0.420	35	大口町	0.382	53	刈谷市	0.318
18	西尾市	0.419	36	安城市	0.376	54	阿久比町	0.308

自己充足度



順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数
1	日進市	0.242	18	江南市	0.317	37	知多市	0.346
2	弥富市	0.254	20	阿久比町	0.321	38	豊明市	0.350
3	大府市	0.263	20	東浦町	0.321	38	安城市	0.350
4	常滑市	0.271	20	南知多町	0.321	38	知立市	0.350
5	北名古屋市	0.288	20	美浜町	0.321	38	長久手市	0.350
6	豊山町	0.289	20	武豊町	0.321	38	東海市	0.350
7	豊橋市	0.292	25	名古屋市	0.325	43	尾張旭市	0.354
8	新城市	0.293	25	豊田市	0.325	44	半田市	0.358
9	碧南市	0.296	25	小牧市	0.325	45	岩倉市	0.363
10	みよし市	0.300	28	愛西市	0.333	46	岡崎市	0.367
10	大口町	0.300	28	高浜市	0.333	47	東郷町	0.375
10	扶桑町	0.300	30	大治町	0.338	47	設楽町	0.375
13	瀬戸市	0.308	30	蟹江町	0.338	47	東栄町	0.375
13	あま市	0.308	30	飛島村	0.338	47	豊根村	0.375
15	豊川市	0.313	33	犬山市	0.342	51	春日井市	0.396
15	幸田町	0.313	33	一宮市	0.342	52	刈谷市	0.400
15	稲沢市	0.313	33	西尾市	0.342	53	清須市	0.421
18	田原市	0.317	33	蒲郡市	0.342	54	津島市	0.446

社会的連携性



順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数	順位	市町村名	指数
1	設楽町	0.222	19	江南市	0.311	37	豊山町	0.354
1	東栄町	0.222	19	知多市	0.311	38	常滑市	0.356
1	豊根村	0.222	21	犬山市	0.317	38	大治町	0.356
4	東海市	0.25	21	清須市	0.317	38	蟹江町	0.356
5	津島市	0.256	23	豊川市	0.322	38	飛島村	0.356
6	日進市	0.261	24	碧南市	0.328	42	大口町	0.361
7	豊明市	0.272	24	田原市	0.328	42	扶桑町	0.361
8	尾張旭市	0.283	26	名古屋市	0.337	42	東郷町	0.361
9	豊田市	0.289	27	長久手市	0.344	45	岡崎市	0.367
9	岩倉市	0.289	28	蒲郡市	0.345	45	愛西市	0.367
11	西尾市	0.294	29	安城市	0.35	47	瀬戸市	0.372
12	大府市	0.295	29	豊橋市	0.35	47	知立市	0.372
12	みよし市	0.295	29	刈谷市	0.35	49	小牧市	0.378
14	半田市	0.3	29	阿久比町	0.35	50	一宮市	0.383
15	幸田町	0.305	29	東浦町	0.35	51	北名古屋市	0.389
15	弥富市	0.305	29	南知多町	0.35	52	春日井市	0.395
17	あま市	0.306	29	美浜町	0.35	52	高浜市	0.395
18	新城市	0.308	29	武豊町	0.35	54	稲沢市	0.400

6. データからわかること

総合指数：全般的に**三河地方**が高く、**尾張地方**が低い。それぞれの内部を見ると、**東三河の山間部**は低く、尾張では**名古屋市**の**東隣**と**南隣**は高い傾向。

ただし、総合指数は平均値なので、個別の指標を見ていく必要がある。

命指数：**西三河**が高く、尾張でも**西三河に隣接する地域**は高い。**東三河の山間部**と**知多半島南部**が低いが、これは人口減少、高齢化の影響が大きい。

生活指数：**三河地方**の高さと**尾張地方**の低さが対照的。**西三河**は全体的に良好。**東三河の山間部**の生活インフラは維持できている。**名古屋市とその周囲**のいくつかの自治体は、所得は高いが福祉に難がある。

尊厳指数：尾張の**名古屋市の周囲**で、ジェンダー平等や多文化共生の数値が高いところは良好。文化財が豊かな**東三河**も高い。**尾張西部**と**知多半島中南部**が低い。

自己充足度：地域による高低はあまり見られず、自治体によって様々。

社会的連携性：名古屋市の周囲はまだら模様だが、**三河地方の山間部**で高いのが目立つ。

7. 提言「誰も取り残されない愛知」を実現するために

1. **SDGs**: 愛知県内で、豊田市、県、名古屋市、豊橋市、岡崎市、小牧市、知立市、安城市の8自治体の順で、**SDGs未来都市**に選定されている。しかし、その多くは産業、資源、環境の持続可能性、地域創生に重点が置かれており、「誰一人とり残されないまちづくり」をめざし、**一人一人の尊厳の視点**をより重視した取り組みが求められる。

2. **経済・雇用**: 農林漁業、観光業の高付加価値化、ブランド化を推進し、**雇用機会を拡大**し、転入者向けの行政サービスを充実させ、若者とりわけ女性に移住・定住、あるいは「帰りたい」と感じるような町づくりを目指す。

3. **防災・減災**: 南海トラフ地震のような緊急事態に備えて、住民、地域の団体や組織、近隣市町村、行政機関などとの連携を通じて、**平時から避難体制(福祉避難所を含め)、連絡・備蓄・支援体制を準備**して、定期的に災害訓練を行う。

4. **子どもの不登校、いじめ、虐待、自殺**: 県内の多くの自治体で深刻な課題。

学校や家庭で、**子どもの権利条約を学び**、自分を大切に、相手を尊重する習慣をつける。いじめ、不登校に対する取り組みを従来に倍加して強化する。

児童虐待に関する児童相談所の対応体制を強化し、学校の外での居場所作りで活動するNPOへの公的支援を強化する。

5. **外国人の子ども**: 愛知県内には、全国最多の10,749人(2021年5月)の日本語指導が必要な外国籍の児童生徒が在住し、また不就学の可能性のある学齢期の外国人児童も多い。これらの子どもの対する**支援体制の強化**が急務であり、民間支援団体への公的助成も重要である。

6. **住民が主役のまちづくり**: 子どもや女性など当事者の意見を、施策に反映させるため、ユニセフ「**子どもにやさしいまち事業**」への参加を検討する(県内では豊田市が開始予定)。

ユネスコスクール指定校を増やし、環境教育とともに、SDGsの**尊厳に関する教育**を拡充する。

7. **男女共同参画**: 各自治体の取り組みにもかかわらず、依然として雇用、賃金、家事分担、議員、管理職、審議会・防災会議などで男女格差が根強い。

自治体の男女共同参画計画、子育て支援策に、**ジェンダーの視点**を重視する。

8. **地域密着型の共助**: 地縁団体やコープあいちなど地域密着型の組織やNPOなどの**市民社会による共助活動**を奨励・支援し、自治体の活動との協働を図る。

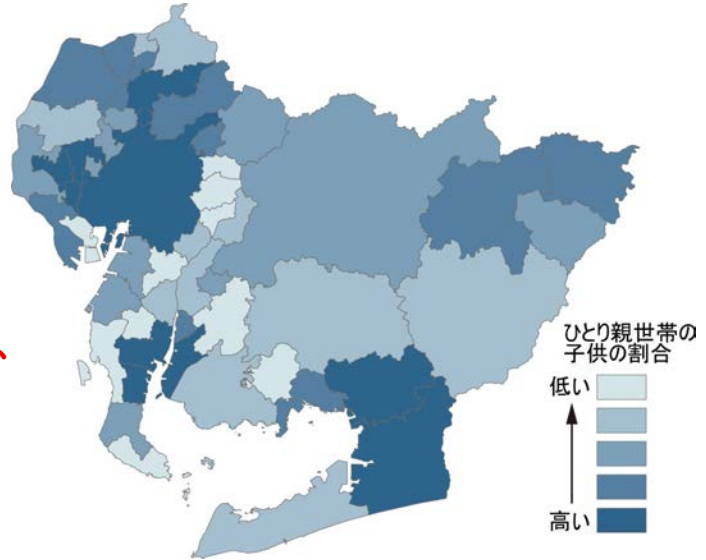
9. **自治体の発信力**: 日々の生活や移住定住、防災、観光などについての必要な情報が迅速に、かつ分かりやすく得られるよう、市町村のホームページの表示方法を改善し、**発信力を向上**することが求められる。

8. 愛知県の個別課題：子ども

ひとり親世帯の子供の割合

日本の一人親世帯の貧困率は44.5% (2023年)と先進国の中でも極めて高い。子どもの貧困を減らし、貧困の連鎖を断ち切るために、特に一人親世帯の多い地域では子ども施策の充実が急務である。

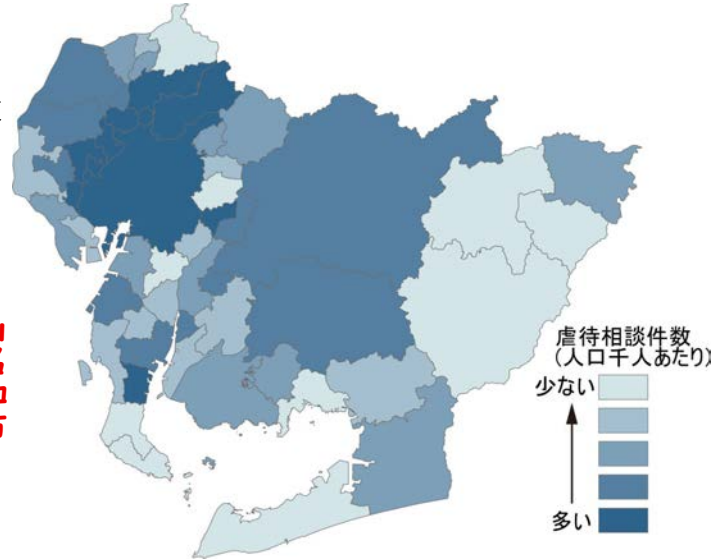
人口比で多い自治体: 半田市 (知多)、小牧市 (尾張)、津島市 (海部)、豊山町 (尾張)、名古屋市、武豊町 (知多)、豊橋市 (東三河)、豊川市 (東三河)、蟹江町 (海部)、碧南市 (西三河)



子どもの虐待相談件数

愛知県内の児童虐待相談件数は増加の一途をたどっており、2021年度には、10,323件 (うち名古屋市6,588件) に達している。心理的虐待、身体的虐待、ネグレクトなど子どもの健やかな成長を傷つける虐待を無くす努力がSDGsの観点からも重要である。

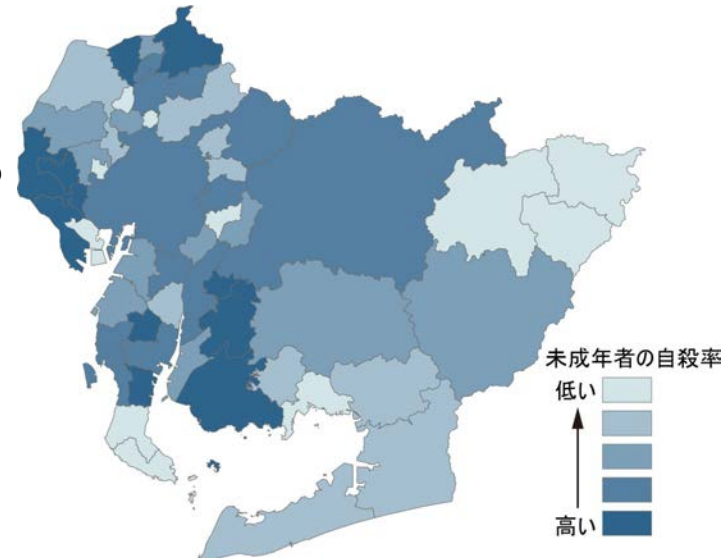
人口比で多い自治体: 大治町 (尾張)、豊山町 (尾張)、小牧市 (尾張)、名古屋市、北名古屋市 (尾張)、東郷町 (尾張)、武豊町 (知多)、あま市 (海部)、鯖江町 (海部)、清須市 (尾張)、春日井市 (尾張)



未成年者の自殺率

日本の子どもの精神的満足度は先進国33か国中32位(ユニセフ・レポートカード)、未成年者の死因の第1位が自殺という世界でも特異な国である。自己肯定感を高めるためには、子どもの権利条約を勉強し、自分の命の大切さを知ることが重要である。

人口比で多い自治体(順): 武豊町 (知多)、蟹江町 (海部)、阿久比町 (知多)、知立市 (西三河)、津島市 (海部)、愛西市 (海部)、安城市 (西三河)、犬山市 (尾張)、江南市 (尾張)、西尾市 (西三河)

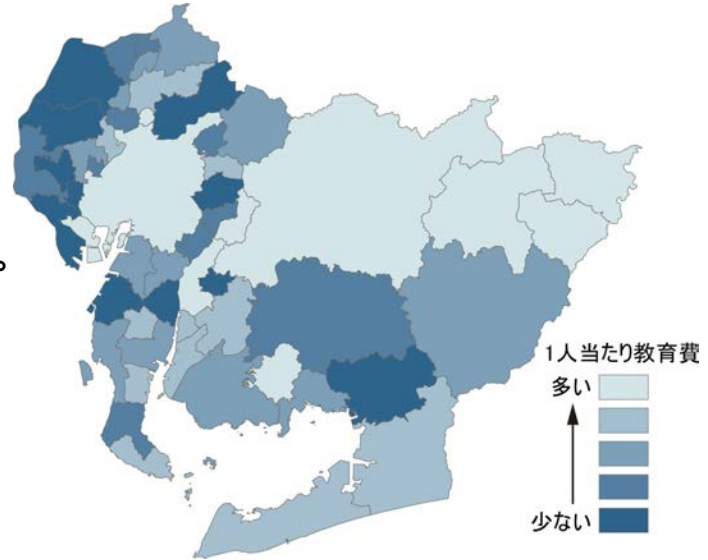


教育の課題 (及川幸彦 担当)

子供一人あたりの教育費の割合

愛知県で子供一人あたりの教育費の割合が高いのは、人口規模の小さく教師一人あたりの生徒数の少ない山間部の自治体か、工業地帯の財政規模の大きい自治体に大別される。逆に知多や海部等の自治体は高くなく、地方間の教育環境の格差解消が課題となる。

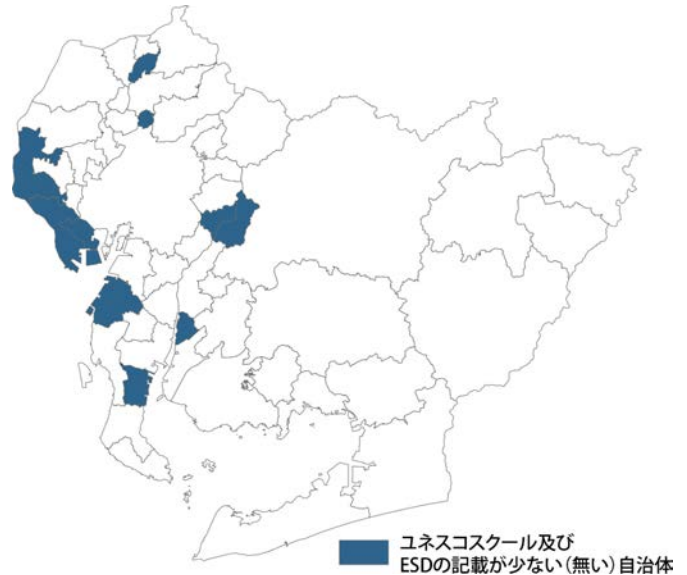
人口比で少ない自治体：一宮市(尾張)、豊川市(東三河)、蟹江町(海部)、知立市(西三河)、東浦町(知多)、弥富市(海部)、知多市(知多)、津島市(海部)、稲沢市(尾張)



SDGsの達成に資する教育 (ESD) の推進

文部科学省がSDGsの達成に資する教育 (ESD) の推進拠点と位置付けるユネスコスクールは、愛知県内に159校、全国第1位。教育大綱や教育振興基本計画にESDやSDGsに関する施策について言及している自治体は39。両方ともないのが10自治体。全県的な推進が望まれる。

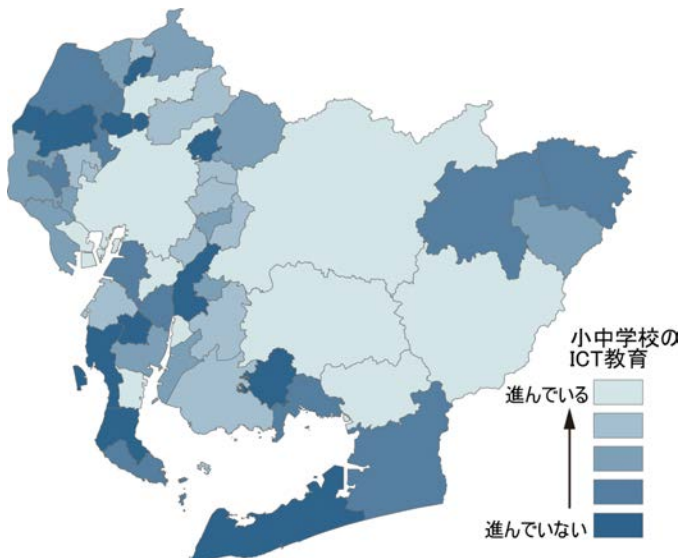
ユネスコスクール及びESDの記載が少ない(無い)自治体：知多市(知多)、高浜市(西三河)、愛西市(海部)、弥富市(海部)、みよし市(西三河)、東郷町(尾張)、豊山町(尾張)、大口町(尾張)、飛島村(海部)、武豊町(知多)



小中学校のICT教育の環境

文部科学省の「GIGAスクール構想」により、ICT教育の充実が図られているが、愛知県内ではICT環境の整備状況にばらつきがみられる。SDGsの達成に資する教育の展開に向け、ICT活用の促進が望まれる。

ICT教育環境が進んでいない自治体：幸田町(西三河)、大口町(尾張)、阿久比町(知多)、田原市(東三河)、刈谷市(西三河)、常滑市(知多)、豊山町(尾張)

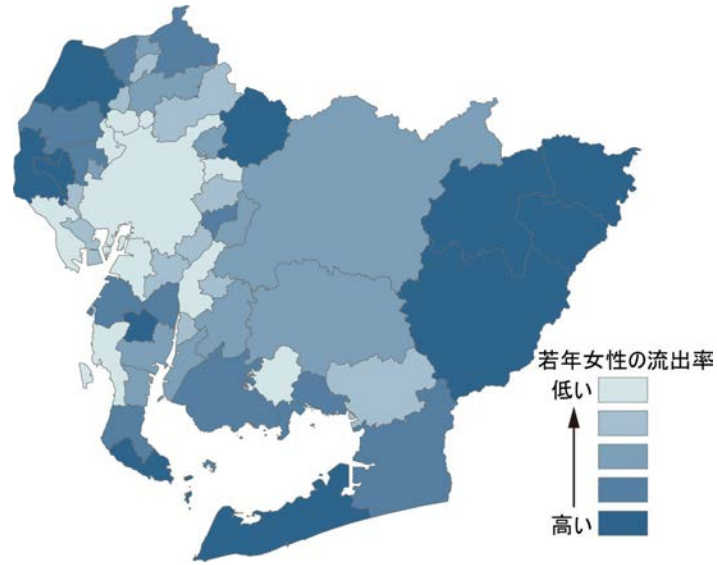


女性 (石本めぐみ 担当)

若年女性の流出率

日本の地方の最優先課題である人口減少の原因として懸念される若年女性(20-39歳)の流出問題は、会社、家庭、社会において地域の女性の尊厳を重視してこなかったことから、より選択肢の多い都心部へ若年女性が集中し、地方へ戻らないことが大きな課題である。愛知県内でも、若年女性の増減率が自治体によって大きく異なる。

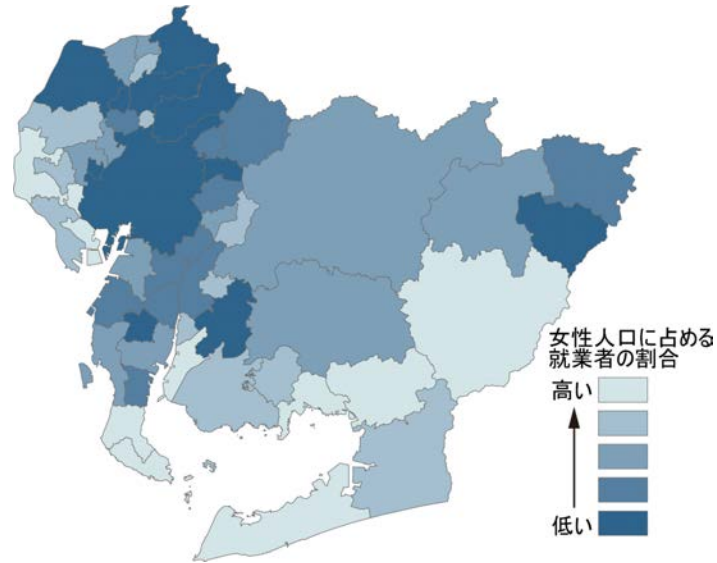
人口比で多い自治体: 東三河の豊根村、東栄町、設楽町、新城市、田原市、知多の南知多町、海部の愛西市、津島市、尾張の瀬戸市、一宮市



女性人口に占める就業者の割合

女性の雇用率が低止まりしている理由として、女性に家事・育児等の無償労働が集中している(日本は週平均女性224分、男性41分、OECD2020)ことが影響を及ぼしている。愛知県の女性の雇用率は全国33位にとどまる(2015年)。

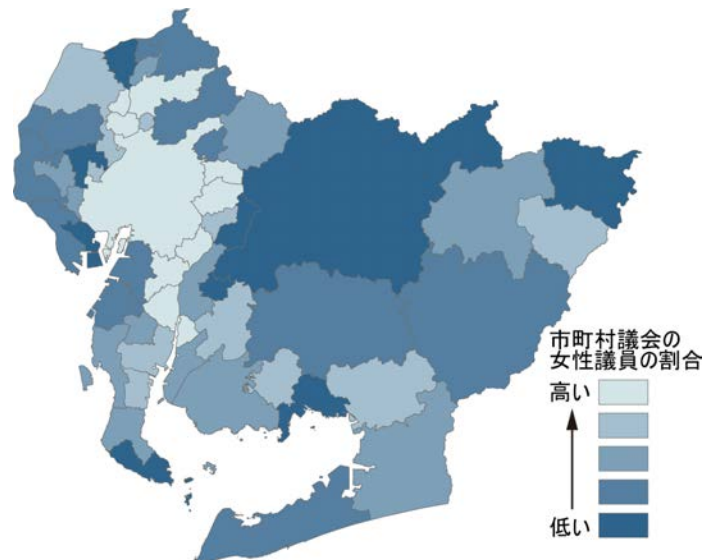
人口比で低い自治体: 名古屋市、東栄町(南三河)、阿久比町(知多)、一宮市(尾張)、安城市(西三河)、長久手市(尾張)、春日井市(尾張)、岩倉市(尾張)、犬山市(尾張)、大治町(海部)



市町村議会の女性議員の割合

日本の政治分野の男女格差は138位と世界最低クラス(世界経済フォーラム2023年)。愛知県議会議員に占める女性の割合は7.8%、全国43位。県内の市町村議会では平均28.7%、全国21位。防災会議(都道府県10.1%)、公務員管理職(県11.3%、市町村28%)、自治会長(6.7%)など意思決定の地位に女性が少なく、格差解消の是正施策が求められる。

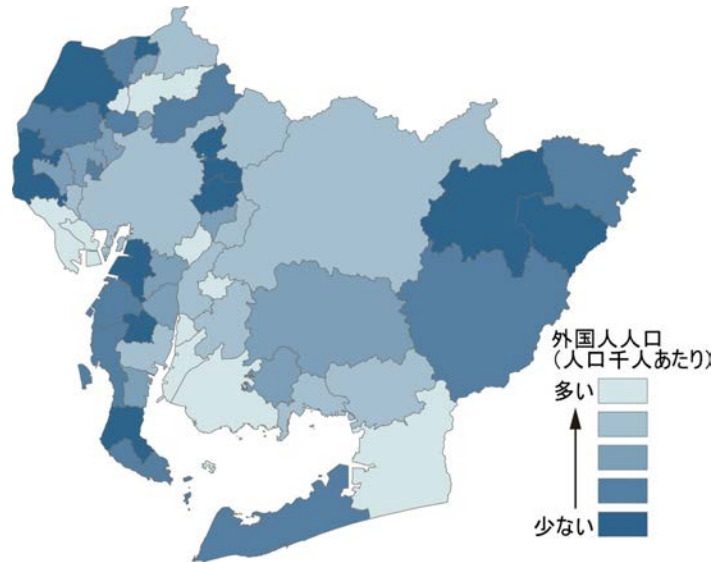
人口比で低い自治体: 豊根村(東三河)、みよし市(海部)、蒲郡市(東三河)、豊田市(西三河)、南知多町(知多)、あま市(海部)、江南市(尾張)、知立市(西三河)、飛島村(海部)



外国人 (宮下大夢 担当)

愛知県内には、297,248人(2023年6月末)の外国人が在住し(県内人口の3.74%)、多文化共生の推進が大きな課題である。

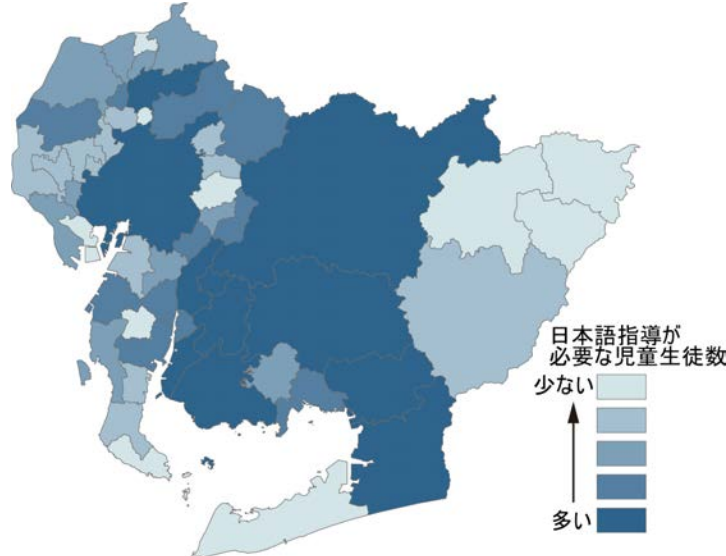
人口比で多い自治体:西三河の高浜市、碧南市、知立市、西尾市、海部では飛島村、弥富市、尾張では小牧市、岩倉市、豊明市、東三河では豊橋市。



日本語指導が必要な児童生徒

「日本語で日常会話が十分にできない児童生徒」および「学年相当の学習言語能力が不足し、学習活動への取組に支障が生じている児童生徒」が、愛知県内には、全国最多の13,043人(2023年5月)が在住する(外国籍・日本国籍を含む)。日本語指導の支援体制を充実させる必要がある。

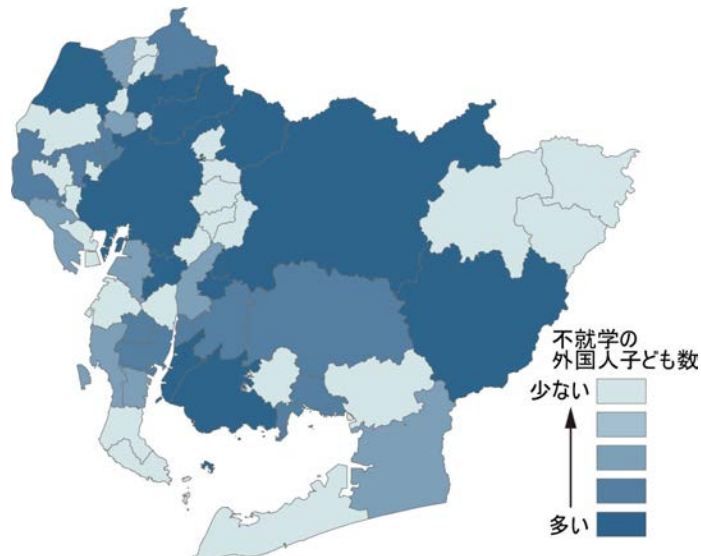
人数が多い自治体:名古屋市(尾張)、豊橋市(東三河)、豊田市(東三河)、小牧市(尾張)、西尾市(西三河)、岡崎市(西三河)、安城市(西三河)、知立市(西三河)、碧南市(西三河)、刈谷市(西三河)



不就学の可能性がある学齢期の外国人の子どもの数

「不就学」の可能性のある外国人の子どもの数は、全国で8,000人以上に上る。愛知県内には、不就学または就学状況を把握できていない学齢期の外国人の子どもの数が554人(2022年)在住する。外国人の子どもの就学状況を正確に把握し、不就学の子どもに教育機会が確保されるようにする必要がある。

人数が多い自治体:知立市(西三河)、名古屋市(尾張)、大府市(知多)、春日井市(尾張)、西尾市(西三河)、小牧市(尾張)、新城市(東三河)、碧南市(西三河)、瀬戸市(尾張)、豊田市(西三河)

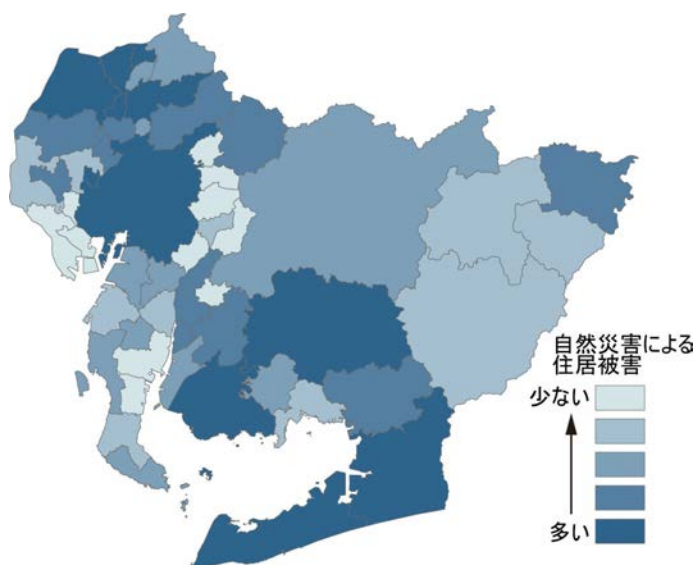


防災 (山崎真帆 担当)

自然災害による住居被害

近年大規模な災害に見舞われていない愛知県は、自然災害による死者・行方不明者数(1995-2016年)が全国でも2番目に少ない(10万人あたり0.3人)。しかし、南海トラフ地震により甚大な地震・津波被害が想定されていることから、ハード・ソフト両面での対策が急務である。主要河川沿いを中心に例年台風や大雨による被害が出ていることには注意が必要である。

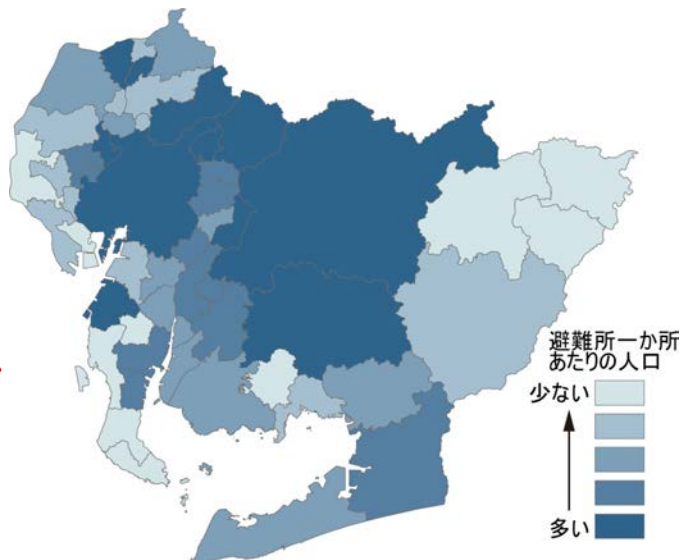
被害が多い(実数)自治体:名古屋市、豊橋市(東三河)、一宮市、小牧市、扶桑町、江南市、岩倉市(以上尾張)、大治町(海部)、西三河の岡崎市、西尾市、田原市(東三河)



避難所一か所あたりの人口

被災者の命をつなぐ避難所は、発災後、自治体が事前に指定した施設に設置される。能登半島地震でも避難所の体制不足が問題となっているが、愛知県内でも広域での受け入れ体制を整備しておく必要がある。

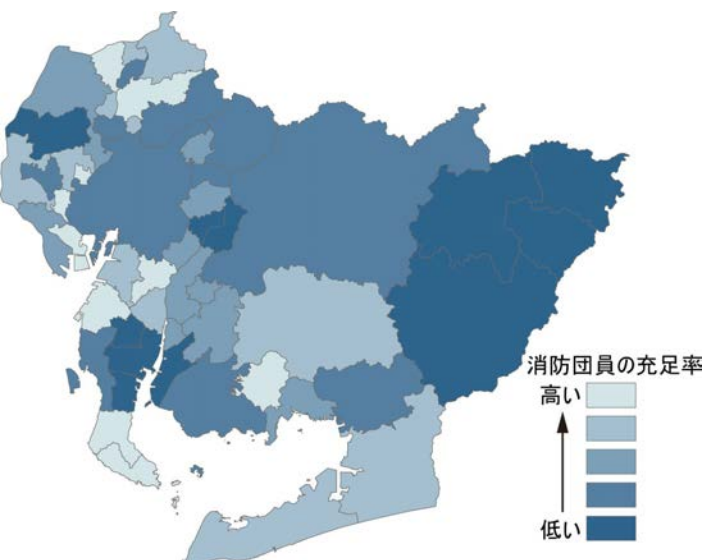
一か所あたりの人口が大きい自治体:岡崎市(西三河)、春日井市(尾張)、江南市(尾張)、尾張旭市(尾張)、豊田市(西三河)、大口町(尾張)、みよし市(西三河)、清須市(尾張)、名古屋市、瀬戸市(尾張)



消防団員の充足率

消防団は、消火活動のみならず、救助活動や避難誘導など多様な役割を担うが、近年は社会構造や就業構造の変化によって団員数が減少し続けている。大規模災害に備え、消防団員の充足率を向上させ、地域防災力の充実強化を図る必要がある。

充足率が低い自治体:碧南市(西三河)、設楽町(東三河)、東栄町(東三河)、東郷町(尾張)、阿久比町(知多)、稲沢市(尾張)、豊根村(東三河)、武豊町(知多)、新城市(東三河)、半田市(知多)



9. 愛知県各自治体の優先課題

(各指標の後の数字は県内54自治体中の順位)

1. 名古屋市 総合指数45位 人口228万9324人

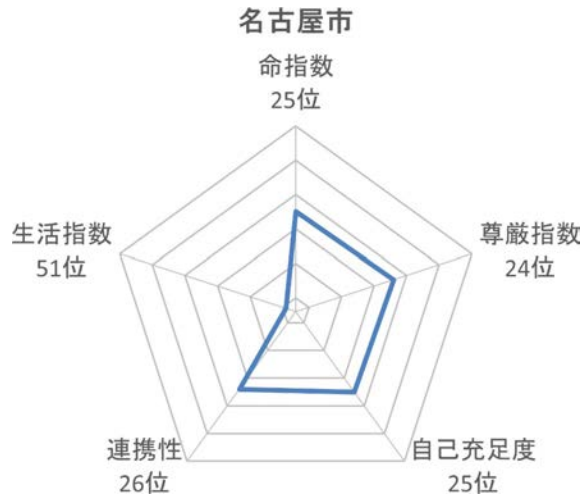
総評: 全般的に指数は中位だが、生活指数51位は低い。

トップクラス: 禁煙対策1、地域再生計画認定数1、小中学校のICT教育1、児童養護施設の数1、公共施設の耐震化率1

課題が大きい指標: 失業率54、女性就業者割合54、生活保護受給率54、要介護認定者割合54、介護サービス従事者数54、自然災害の住居被害54、選挙投票率54、日本語指導が必要な生徒数54

自治体の魅力のアピール: 多言語対応、やさしい日本語など、防災も想定した外国人向けの情報提供が充実。文字情報が多く視覚情報が少ない。リンクが多く、情報を探しにくい。

取り組み課題: 女性の就労促進、介護サービスの改善、防災・減災、選挙投票率、子どもへの日本語指導の充実



2. 豊橋市 (東三河) 総合指数12位 人口36万9725人

総評: 生活指数8位が高く、全体として良好。住民の主観的評価である自己充足度7位も高いが、社会的連携29位は中位。

トップクラス: 禁煙対策1、ユネスコスクール1、ESD教育の取り組み2、児童養護施設の数4、人生に不満足な人の割合2、

課題が大きい指標: ひとり親世帯の子供の割合48、就学援助受給率50、自然災害の住居被害53、こどもの居場所数48、女性の自殺率50、選挙投票率49、日本語指導が必要な生徒数53

自治体の魅力のアピール: 防災情報を探しやすい。画像を用い情報を分かりやすく伝える工夫。観光資源に関する画像を多用

取り組み課題: 子ども施策の充実(ひとり親世帯の子供、就学援助、こどもの居場所、日本語指導)、防災・減災、女性の自己肯定感の向上、選挙投票率



3. 岡崎市（西三河）総合指数10位 人口38万3789人

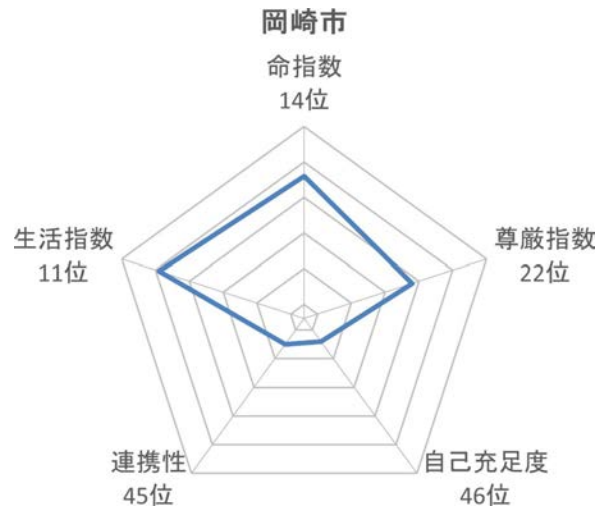
総評:生活指数は11位で上位。命指数14位、尊厳指数22位すべて良好。住民の自己充足度46位、社会的連携45位は低い。

トップクラス:地域再生計画認定数2、就学援助受給率3、小中学校のICT教育1、児童養護施設数2、要介護3以上の割合1、公共施設の耐震化率1

課題が大きい指標:災害死者等の数50、避難所の収容人口54、飲酒運転違反件数48、子どもの居場所数49、日本語指導が必要な生徒数49

自治体の魅力のアピール:視覚に訴えかけるデザインで、観光名所や名産品をわかりやすく紹介。移住支援の情報は充実しているが、わかりにくい。

取り組み課題:防災・減災（避難所の整備）。子ども施策の充実（健康、居場所づくり）。日本語指導の充実、交通安全。



4. 一宮市（尾張）総合指数41位 人口37万9538人

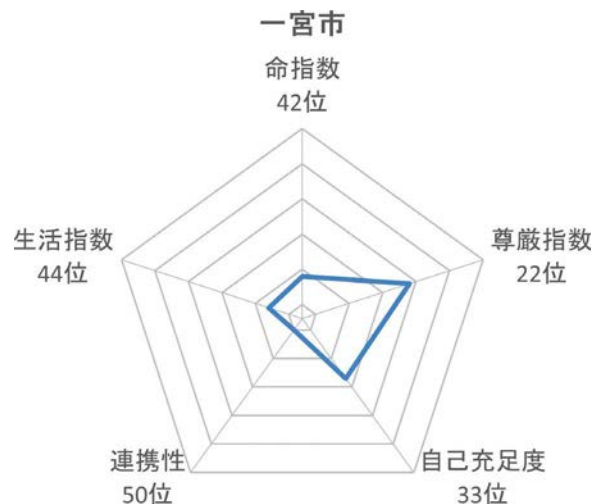
総評:尊厳指数は22位で中位だが、自己充足度は33位、命指数は42位、生活指数は44位、社会的連携は50位と弱い。

トップクラス:禁煙対策4、ESD教育の取り組み2、児童養護施設の数4、要介護3以上の割合2、公共施設の耐震化率1

課題が大きい指標:自然災害の死者等の数49、一人あたり医療費52、国民年金保険料の全額免除者割合52、一人あたり教育費54、生活保護受給率50、自然災害の住居被害52、選挙投票率51

自治体の魅力のアピール:父親向けの子育てハンドブックが提供されている。移住・定住サイトの情報が充実している。やさしい日本語がわかりやすい。

取り組み課題:社会福祉の改善（医療費、教育費、生活保護）、防災・減災、選挙投票率



5. 瀬戸市（尾張）総合指数45位 人口12万7882人

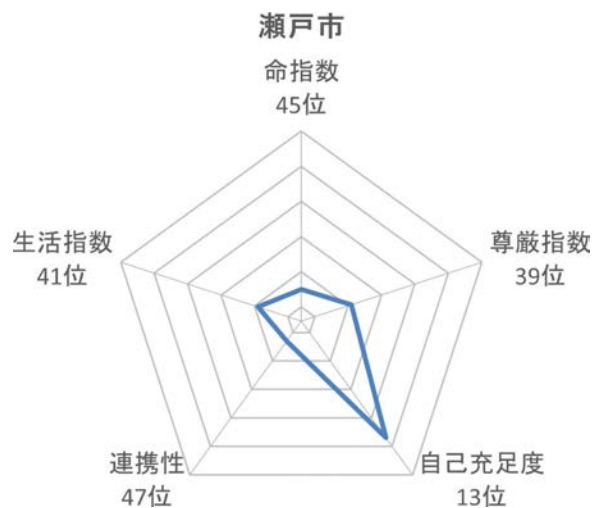
総評:命指数45位が低く、生活指数41位、尊厳指数39位にも課題がある。住民の自己充足度13位に比べ、社会的連携47位が弱い。

トップクラス:自然災害の死者・行方不明者数1、国民健康保険料納付額6、高齢者用施設数1、公共施設の耐震化率1

課題が大きい指標:女性の未婚率47、高齢単身世帯割合50、一人あたり医療費54、国民年金保険料全額免除者の割合51、子どもの居場所の数47、防災会議の女性の割合48、自治会長に占める女性の割合54

自治体の魅力のアピール:就労支援の情報は充実しているが、移住支援の情報は多くない。観光スポットだけでなく食事処の紹介も充実。画像も多い。

取り組み課題:女性の地位の向上（防災会議、自治会長）、高齢者のケア、子どもの居場所の拡充。



6. 半田市（知多）総合指数45位 人口11万7484人

総評:命指数43位が低く、生活指数40位、尊厳指数40位にも課題がある。住民の自己充足度44位が低い。社会的連携14位は強い。

トップクラス:メタボ健診率2、再生可能エネルギー発電量1、自然災害の住居被害1、要介護3以上の割合4、高齢者用施設数4

課題が大きい指標:平均寿命(女性)54、ひとり親世帯の子供の割合54、国民年金保険料の免除50、高齢者有業率53、就学援助受給率50、女性の自殺率53、人生に不満な人の割合51

自治体の魅力のアピール:半田市の良さの独自のアピールが見やすい。子育て情報が充実。必要な情報を探しやすい。

取り組み課題:子ども施策の充実（ひとり親世帯の子供、就学援助、子どもの医療費負担）、女性の自己肯定感の向上、高齢者有業率、消防団員の充足率



7. 春日井市（尾張） 総合指数40位 人口30万8038人

総評: 命指数21位、尊厳指数21位だが、生活指数50位は低い。住民の自己充足度51位、社会的連携52位も低い。

トップクラス: 自然災害の死者・行方不明者数1、

課題が大きい指標: 失業率48、女性人口に占める就業者48、高齢者有業率47、就学援助の受給率50、生活保護受給率53、避難所の収容人口53、不就学の可能性がある外国人の子ども51

自治体の魅力のアピール: 子育て支援に力を入れていることがわかる。生活の魅力をうまく伝えているが、観光資源のアピールが弱い。

取り組み課題: 女性と高齢者の就業の促進、防災・減災、外国人の子どもの就学、観光のアピール



8. 豊川市（東三河）総合指数14位 人口18万6314人

総評: 命指数31位を除き、生活指数13位、尊厳指数14位ともに良好。住民の自己充足度15位、社会的連携23位は中位。

トップクラス: 女性就業者の割合4、ESD教育の取り組み2、再生可能エネルギー発電量8、汚水処理率3、不就学の可能性のある外国人児童1

課題が大きい指標: ひとり親世帯の子供の割合47、メタボ健診率46、1人あたり教育費51、男性職員の育児休業取得率44、日本語指導が必要な生徒数44

自治体の魅力のアピール: 支援策の情報が羅列されているのみで読みづらい。定住促進サイトは良くできているが、アクセスがしにくい。外国人向け動画は好評。

取り組み課題: 子ども施策の充実（ひとり親世帯の子供、教育費、日本語指導）、自治体の男性職員の育児休業、自治体の魅力のアピール



9. 津島市（海部） 総合指数54位 人口6万335人

総評:命指数50位、生活指数47位、尊厳指数51位と極めて低く、課題が多い。住民の自己充足度54位も最も低いが、社会的連携5位は強い。

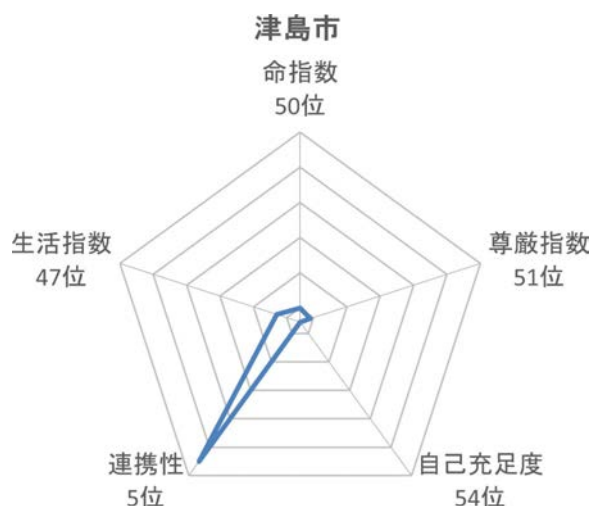
トップクラス:診療所数6、医師の数7、ESD教育の取り組み1、介護従事者数3、管理職の女性割合5、女性自治会長の割合1

課題が大きい指標:平均寿命(男)51、出生率52、高齢単身世帯割合49、ひとり親世帯の子供の割合52、自然災害の被害者数53、正規雇用者の割合53、就学援助受給率50、生活保護受給率49、

未成年者の自殺率50、選挙投票率50、人生に不満足な人の割合52、人生の将来に悲観的な人の割合51

自治体の魅力のアピール:必要な情報を探しにくい。動画や写真を使用した祭りの魅力が伝わる紹介。5言語での「津島散策マップ」は好評。

取り組み課題:定住人口の増加、雇用創出、市民の自己充足度、子ども施策



10. 碧南市（西三河） 総合指数17位 人口7万2459人

総評:生活指数は15位と良いが、命指数は30位、尊厳指数は26位と中位。住民の自己充足度は9位と高いが、社会的連携は24位。

トップクラス:自然災害の死者等の数1、就学援助の受給率3、ケースワーカー担当世帯数2、耐震化率1、外国人人口2、20歳未満の外国人の割合2

課題が大きい指標:自治体の障がい者雇用率50、要介護3以上の割合50、消防団員の充足率54、自治会長に占める女性の割合54、外国人が増えることを歓迎する割合51

自治体の魅力のアピール:就労や移住に関する情報があまり多くない。外国語に対応したハザードマップがあり、日本語教室等の情報も豊富。

取り組み課題:高齢者・障がい者福祉の増進、障がい者雇用の促進、防災・減災、女性の地位向上、多文化共生



11. 刈谷市（西三河）総合指数23位 人口15万2428人

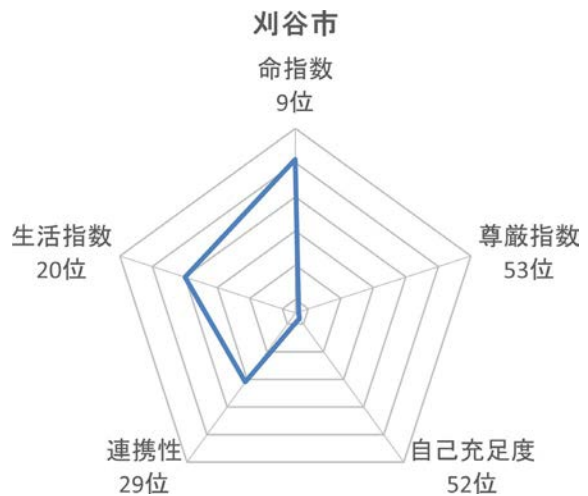
総評:命指数9位は高位だが、生活指数20位は中位で、尊厳指数53位は低位。住民の自己充足度52位は、社会的連携29位に比べ低い。

トップクラス:男性の生産人口割合3、自然災害の死者・行方不明者数1、正規雇用の割合1、女性の正規雇用の割合2、就学援助の受給率3、ユニスコスクールの割合3、公共施設の耐震化率1

課題が大きい指標:労働生産性52、小中学校のICT教育50、住宅の高

齢者設備49、女性自治会長の割合54、人生に満足していない者の割合52
自治体の魅力のアピール:就労支援情報が少なく、関連サイトへのアクセスもわかりにくい。観光では写真も多く、観光資源がわかりやすい。

取り組み課題:学校教育（生徒数、ICT教育）、高齢者住宅、女性の地位向上、多文化共生、市民の自己充足度の向上



12. 豊田市（西三河）総合指数6位 人口41万6747人

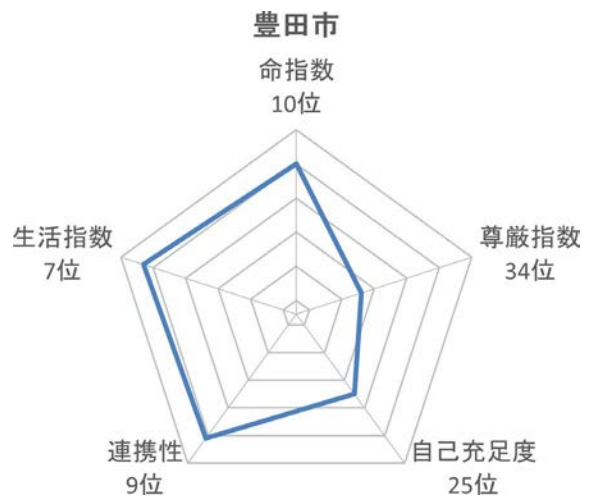
総評:命指数10位、生活指数7位は高いが、尊厳指数34位にとどまる。住民の自己充足度25位は中位だが、社会的連携9位は強い。

トップクラス:男性平均寿命3、自然災害の死者・行方不明者数1、男性の有酸素運動実践者2、財政力指数2、介護事業者求人充足率1、自治体の魅力アピール2

課題が大きい指標:避難所の収容人口50、子どもの居場所49、市町村管理職の女性の割合46、日本語指導が必要な子どもの割合52

自治体の魅力のアピール:移住・定住促進サイトでは就職支援の情報もわかりやすくまとめている。観光資源の紹介では自動車産業や歴史を絡めてうまくアピールしている。

取り組み課題:子どもの居場所、日本語教育、女性の地位向上、防災・減災



13. 安城市（西三河） 総合指数8位 人口18万8645人

総評: 命指数4位、生活指数10位は高いが、尊厳指数36位。住民の自己充足度38位、社会的連携29位は中位。

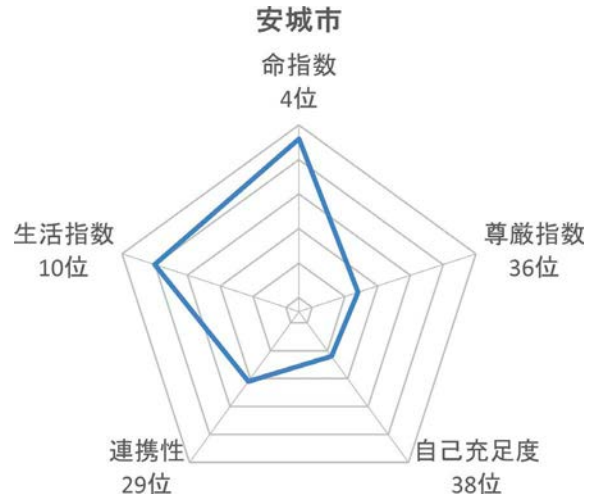
トップクラス: 自然災害の死者・行方不明者1、一人あたり医療費2、所得300万円未満世帯の割合2、就学援助の受給率3、空き家率3、公共施設の耐震化率1

課題が大きい指標: 女性の就業者の割合50、障がい者雇用率49、教員あたり中学校生徒数50、高齢者施設数50、未成年者自殺率48、

市町村管理職の女性割合53、日本語指導が必要な子どもの数48

自治体の魅力のアピール: 文化や歴史の情報が少ない。父親向けの子育て情報が豊富。外国人向けの防災、感染症対策などの情報がまとまっている。

取り組み課題: 子どもの自殺率、教育の改善（生徒数、日本語教育）、女性の就業および管理職への登用、障がい者の雇用、高齢者施設の拡充



14. 西尾市（西三河） 総合指数20位 17万228人

総評: 生活指数15位、尊厳指数18位に比べ、命指数40位。住民の社会的連携11位は良好だが、自己充足度33位は中位。

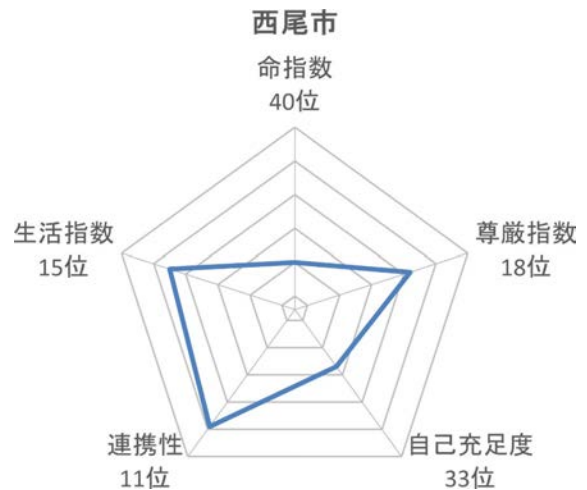
トップクラス: 自然災害の死者・行方不明者数1、一人あたり医療費3、就学援助の受給率3、公共施設の耐震化率1、外国人が増えることを歓迎する者の割合2

課題が大きい指標: 男性平均寿命47、病院・診療所数47、メタボ健診実施率52、3歳児の虫歯52、

一人あたり所得48、飲酒運転51、ジェンダー平等54、不就学の外国人の子どもの数50、日本語指導が必要な子どもの数50

自治体の魅力のアピール: 観光資源に関する情報が少ない。多言語に対応した「生活ガイドブック」や「ごみカレンダー」など、外国人向け情報が充実。

取り組み課題: 健康の改善（男性寿命、診療所数、メタボ健診、3歳児の虫歯など）、飲酒運転、ジェンダー平等、外国人の子どもの就学、日本語指導



15. 蒲郡市（東三河） 総合指数24位 人口7万8443人

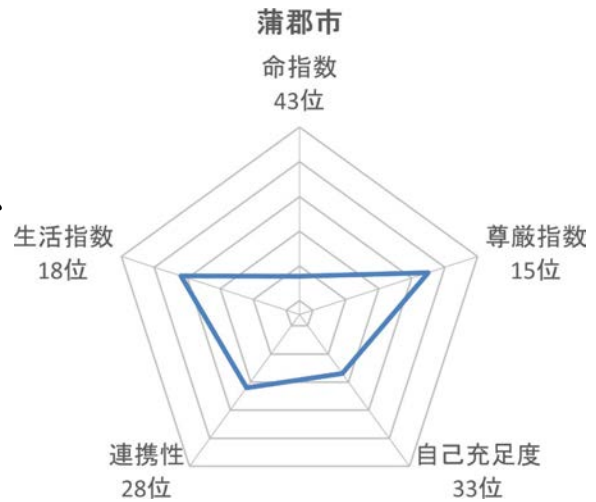
総評:生活指数18位、尊厳指数15位に比べ、命指数43位が低い。住民の自己充足度33位、社会的連携28位は中位。

トップクラス:子どもの医療費補助3、女性就業者の割合6、児童相談件数7、未成年者の自殺率1、女性若手経営者の割合4、指定文化財5

課題が大きい指標:出生率47、子どもの数46、未婚率(男)49(女)42、高齢単身世帯割合47、メタボ検診49、女性議員の割合52、防災会議の女性割合50、女性自治会長の割合

自治体の魅力のアピール:情報が更新順なので、必要な情報を探しにくい。観光協会の公式サイトへのアクセスが分かりやすく、写真や情報量が豊富。

取り組み課題:男女共同参画の積極的推進(議員、防災会議、自治会長、ジェンダー平等)、出生率の低さや未婚率の高さの改善、防災拠点の耐震化



16. 犬山市（尾張） 総合指数26位 人口7万2331人

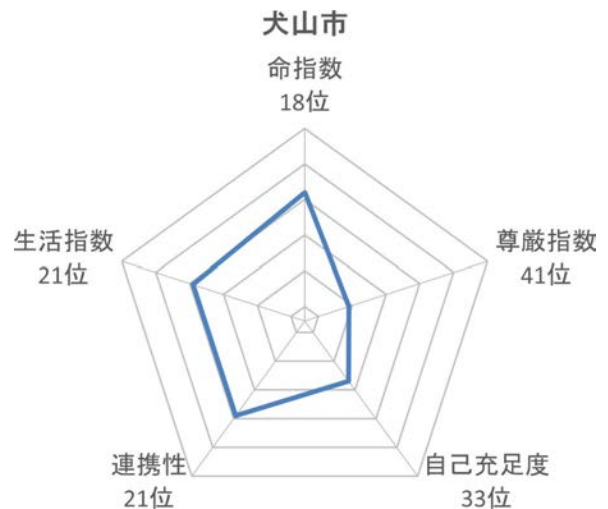
総評:命指数18位、生活指数21位に比べ、尊厳指数41位はやや低い。住民の自己充足度33位、社会的連携21位と中位。

トップクラス:災害の死者・行方不明者数1、子どもの医療費補助4、自治体の禁煙対策4、運動実践(女性)2、就学援助受給率3、児童相談件数9、耐震化率1

課題が大きい指標:出生率49、一人あたり医療費50、正規雇用の割合47、女性就業者の割合46、高齢者有業率52、未成年者の自殺率47

自治体の魅力のアピール:犬山城等の観光資源が豊富であるにもかかわらず、観光に関する情報があまり多くない。

取り組み課題:出生率の引き上げ、正規雇用、女性、高齢者の就労の改善、子どもの自殺への対策



17. 常滑市（知多） 総合指数21位 人口5万8472人

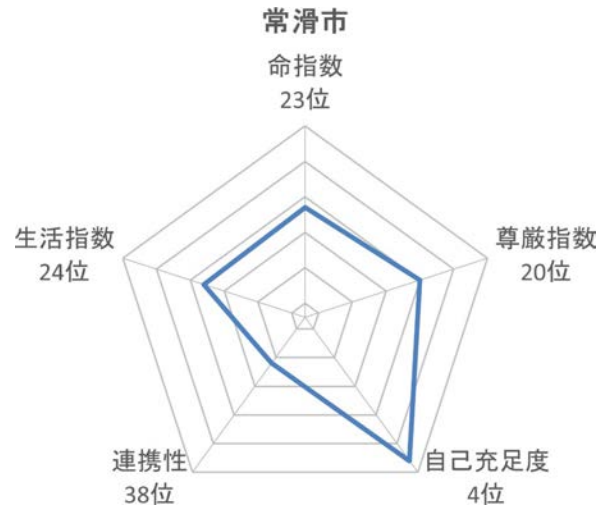
総評: 命指数23位、尊厳指数20位など全般的に中位。他方、住民の自己充足度4位は高い。

トップクラス: 若年女性の流出率1、女性就業者の正規割合6、就学援助受給率3、児童養護施設の数2、人生に不満足な人の割合5、人生の将来に悲観的な人の割合1

課題が大きい指標: 子どもの医療費補助47、運動の実践49、障がい者雇用率52、要介護認定者割合53、高齢者用施設数53、介護従事者数50、防災拠点の耐震化率48

自治体の魅力のアピール: イノベーションシティという常滑市独自のアピール。「観光地」と「住む」という両面で動画を利用して市独自のアピール。

取り組み課題: 高齢者対策、介護の充実、障がい者雇用、防災拠点の耐震化



18. 江南市（尾張） 総合指数41位 人口9万8785人

総評: 命指数20位に比べ、尊厳指数41位、生活指数46位が低い。住民の自己充足度18位、社会的連携19位はやや強い。

トップクラス: 自然災害の死者・行方不明者数1、禁煙対策4、就学援助の受給率3、消防団員の充足率1、公共施設の耐震化率1、ジェンダー平等4

課題が大きい指標: 労働生産性49、正規雇用の割合48、コンビニの数50、自然災害による住居被害48、避難所の収容人口52、公民館数51

自治体の魅力のアピール: 移住・就労に関する情報が少ない。観光資源に特化したサイトがあるが、説明が弱い。

取り組み課題: 正規雇用の増加、労働生産性の向上、防災・減災、公民館の整備



19. 小牧市（尾張）総合指数12位 15万188人

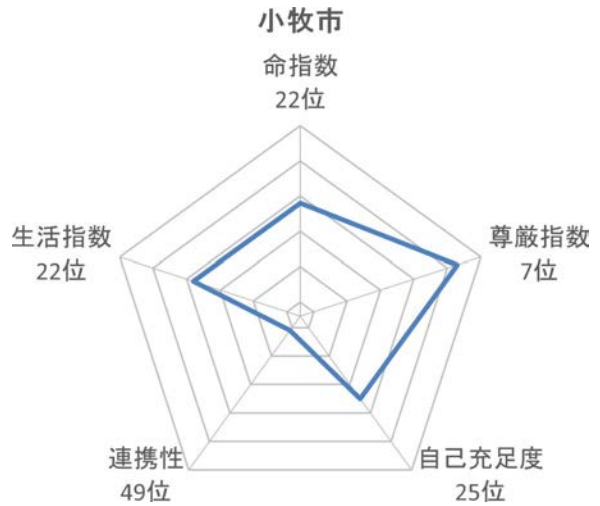
総評: 尊厳指数7位は高いが、命指数22位、生活指数22位は中位。住民の自己充足率25位は中位だが、社会的連携49位は弱い。

トップクラス: 災害の死者・行方不明者数1、小中学校のICT教育1、介護保険料1、消防団員の充足率1、公共施設の耐震化率1

課題が大きい指標: 一人親世帯の子どもの割合53、要介護3以上の割合51、自然災害による住居被害51、子どもの虐待相談件数52、不就学の可能性がある外国人の子ども49、日本語指導が必要な子どもの数51

自治体の魅力のアピール: 生活のしやすさ、市の魅力、施設の情報も、視覚的にアピールされている。子育て支援の情報量が豊富で見やすい。

取り組み課題: 一人親世帯の支援、介護の充実、防災・減災、防犯、子どもの虐待の防止、外国人の子どもたちの支援



20. 稲沢市（尾張）総合指数28位 人口13万3783人

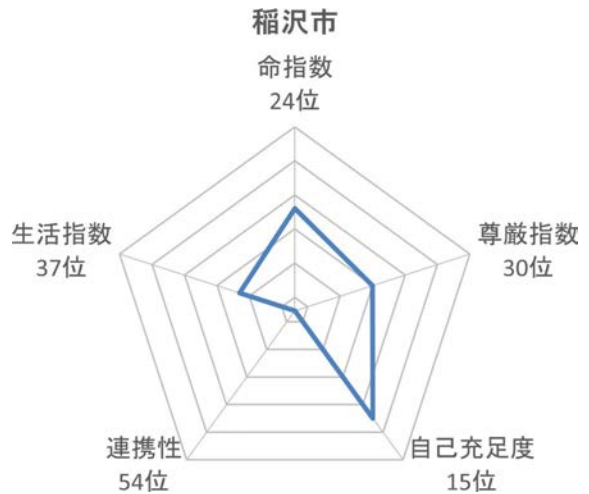
総評: 命指数24位、尊厳指数30位は中位だが、生活指数37位はやや低い。自己充足度15位は良好だが、社会的連携54位が極めて弱い。

トップクラス: 禁煙対策4、就学援助受給率3、若手経営者団体に占める女性の割合3、自分の人生に満足していない者の割合5

課題が大きい指標: 一人あたり教育費46、消防団員の充足率49、刑法犯罪認知件数47、男性自治体職員の育児休業取得率45、外国人が増えることを歓迎する割合53

自治体の魅力のアピール: カラフルで就労支援などの情報も豊富だが、内容の文字が小さくて理解しにくい。

取り組み課題: 教育の改善（予算充当、ICT教育）、防災・減災、防犯、男性の育児参加、多文化共生



21. 新城市（東三河） 総合指数15位 人口4万3458人

総評:生活指数は15位。尊厳指数3位は高いが、命指数47位が低い。他方、住民の自己充足度8位は高い。

トップクラス:国民健康保険納付額4、地域再生計画認定数4、女性就業者の割合3、障がい者雇用率2、学校のICT環境1、住宅の高齢者設備4、子どもの虐待相談件数4、指定文化財4、公民館数4、お祭り催事数4

課題が大きい指標:人口増減率50、出生率48、子どもの数49、生産年齢人口割合51、未婚率(男)48、

若年女性の流出率51、高齢化率50、介護者の充足率51、汚水処理率50、防災拠点の耐震化率50

自治体の魅力のアピール:移住サイトで子育て支援と就労支援情報を絡め、住みやすさをアピール。食、歴史など分野に分けて観光資源が分かりやすい。

取り組み課題:人口減少、少子高齢化、移住定住の促進、雇用機会、耐震化



22. 東海市（知多） 総合指数8位 人口11万3572人

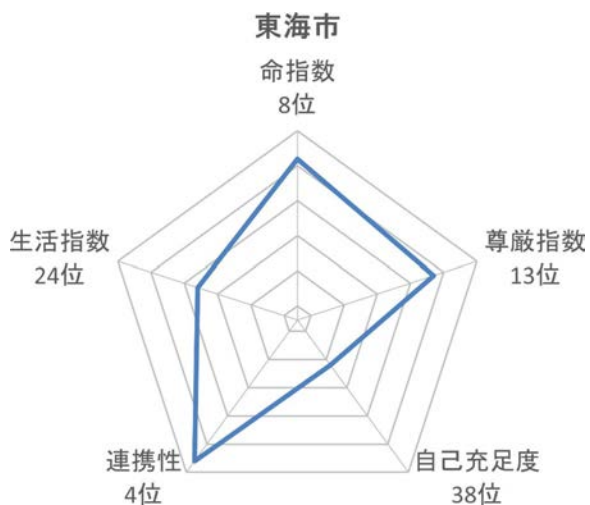
総評:命指数8位、尊厳指数13位ともに高い。生活指数24位は中位。住民の社会的連携4位は良好だが、自己充足度38位は高くない。

トップクラス:出生率2、子どもの医療費補助1、正規雇用者の割合3、財政力指数5、就学援助受給率3、介護保険料4、防災会議の女性割合7、女性若手経営者の割合5、自治体の魅力のアピール6

課題が大きい指標:高齢者用施設数52、介護従事者数49、防災拠点の耐震化率49、指定文化財48

自治体の魅力のアピール:就労支援の情報量が少なく、探しにくい。防災ハンドブックやハザードマップを翻訳して読める。

取り組み課題:高齢者施設・介護の充実、防災・環境対策の強化



23. 大府市 (知多) 総合指数1位 人口9万2892人

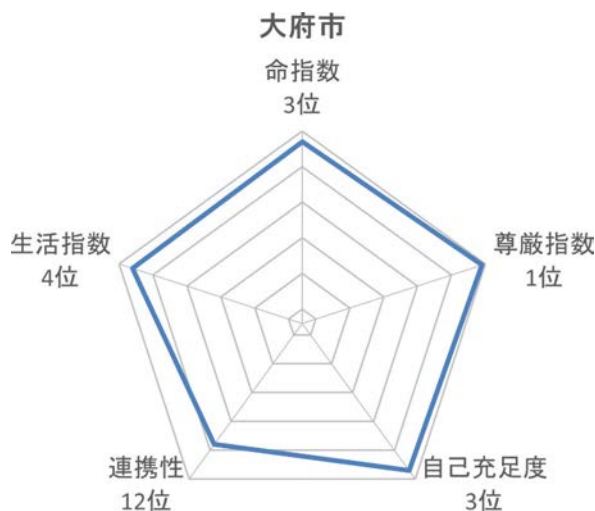
総評: 尊厳指数1位、命指数3位、生活指数4位とすべて極めて高く、住民の自己充足度3位、社会的連携12位も良好で、住みやすいまちである。

トップクラス: 平均寿命男5、女7、人口増減率4、出生率1、子どもの数6、未婚率(男)6、ひとり親世帯の子どもの割合5、禁煙対策1、正規雇用者の割合2、女性正規雇用4、就学援助受給率3、消防団員の充足率1、女性議員の割合1、女性自治会長の割合2、自治体の魅力のアピール1

課題が大きい指標: 健康保険納付額51、CO2の排出量47、指定文化財50、不就学外国人子ども数52

自治体の魅力のアピール: 子育て施設、交通などの包括的な情報が分かりやすくまとめられている。就労に関する情報は多いが、移住支援情報は少ない。

取り組み課題: 不就学の子ども施策、交通安全、環境対策



24. 知多市 (知多) 総合指数24位 人口8万3646人

総評: 尊厳指数16位を除き、命指数29位、生活指数32位ともに中位。社会的連携19位に比べ、自己充足度37位がやや低い。

トップクラス: 交通事故死傷者数6、運動の実践4、労働生産性1、就学援助受給率3、消防団員の充足率1、耐震化率1、管理職の女性割合3、防災会議の女性割合2、

課題が大きい指標: 生産年齢人口割合(男)45、診療所数49、高齢者有業率48、1人あたり教育費48、高齢者用施設数48

自治体の魅力のアピール: 子育て支援政策は豊富だが、更新順に情報が並び、ほぼ同サイズの文字ばかりで読みにくい。ひらがなとローマ字の表示、ふりがなをつける機能が充実。

取り組み課題: 医療施設の拡充、子ども施策の強化: 居場所、教育費、交通安全、防災対策



25. 知立市（西三河） 総合指数32位 人口7万2062人

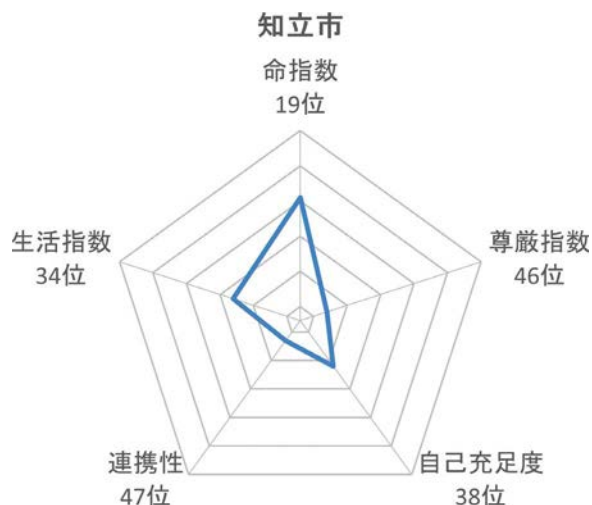
総評: 命指数19位、生活指数34位に比べ、尊厳指数46位が低い。住民の自己充足度38位、社会的連携47位が弱い。

トップクラス: 生産年齢人口（男性）1、生産年齢人口（女性）3、災害の死者・行方不明者数1、女性の正規雇用の割合1、就学援助受給率3、自然災害の住居被害1、公共施設の耐震化率1

課題が大きい指標: 一人あたり教育費52、犯罪認知件数51、未成年者自殺率51、女性若手経営者の割合54、公民館数53、未就学外国人児童数54

自治体の魅力のアピール: 雇用の情報は分かりやすいが、移住支援の情報は少ない。観光の魅力の紹介が弱い。外国人向けの多言語の避難所マップ。

取り組み課題: 教育の充実、子どもの自殺の防止、治安の改善、女性の地位向上、外国人の子どもの教育支援



26. 尾張旭市（尾張） 総合指数28位 人口8万3822人

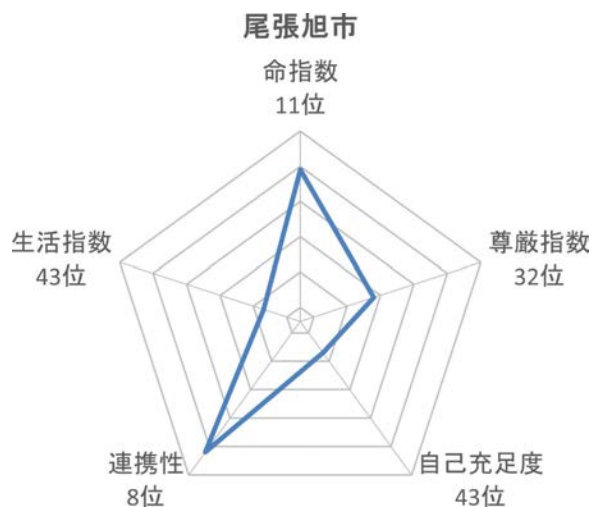
総評: 命指数11位、尊厳指数32位に比べ、生活指数43位が低い。住民の自己充足度43位は低いが、社会的連携8位は強い。

トップクラス: 平均寿命（女性）1、災害の死者・行方不明者数1、運動実践者（男性）1、運動実践者（女性）1、自然災害による住居被害1、公共施設の耐震化率1、不就学の可能性がある子どもの数1

課題が大きい指標: 農漁業生産高53、高齢者有業率50、避難所の収容人口51、指定文化財件数53、地域催事の数54

自治体の魅力のアピール: 必要な情報が探しにくい。就労支援の情報が少ない。自動翻訳とは別に、英語で災害時対応をまとめたページがあった。

取り組み課題: 高齢者の雇用の改善、小学校・中学校の教員拡充、防災・減災、地域文化の振興



27. 高浜市（西三河） 総合指数27位 人口4万9222人

総評：命指数32位、生活指数29位、尊厳指数25位すべて中位。住民の自己充足度は28位。社会的連携が52位と弱い。

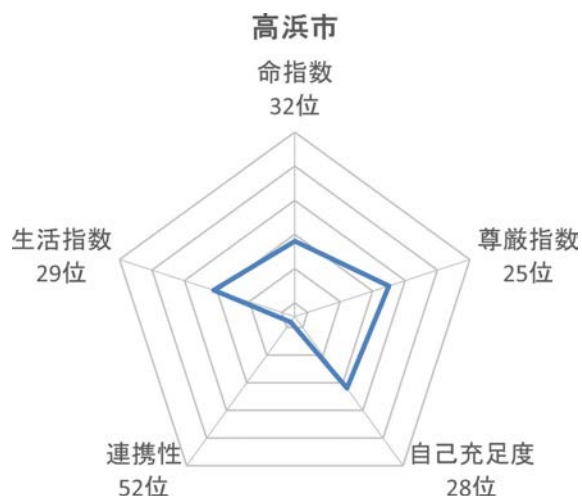
トップクラス：未婚率（女性）3、高齢単身世帯割合3、災害の死者等の数1、就学援助受給率3、公共施設耐震化率1、外国人人口1、未成年外国人数1

課題が大きい指標：平均寿命（男）52・（女）52、子どもの医療費補助48、住宅の高齢者設備49、ジェンダー平等54、自治会長に占める

女性の割合54、自治体の魅力のアピール54、指定文化財の件数48

自治体の魅力のアピール：文字数が多く、ホームページが読みにくい。情報量も画像もあまり多くない。

取り組み課題：市民の長寿の確保、子どもの医療費支援、住宅の高齢者設備設置支援、ジェンダー平等、女性の地位の向上



28. 岩倉市（尾張） 総合指数37位 人口4万7761人

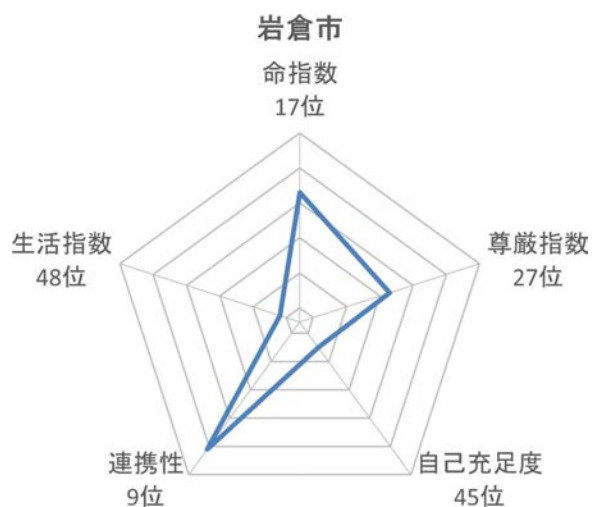
総評：命指数17位、尊厳指数27位に比べ、生活指数48位が低い。住民の自己充足度45位は低いが、社会的連携9位は強い。

トップクラス：災害の死者・行方不明者数1、施設の耐震化率1、未成年者の自殺率1、女性若手経営者の割合1、不就学外国人児童数1

課題が大きい指標：未婚率（女性）51、メタボ健診実施率54、要介護・支援認定者割合52、高齢者用施設数49、女性自治会長の割合54、自治体の魅力のアピール53、指定文化財の件数51

自治体の魅力のアピール：高齢者向け支援の充実や住みやすい田舎というアピールがよく伝わる。移住の情報がわかりにくい。

取り組み課題：健康増進、高齢者施設の拡充、ジェンダー平等、女性の地位



29. 豊明市（尾張） 総合指数11位 人口6万8203人

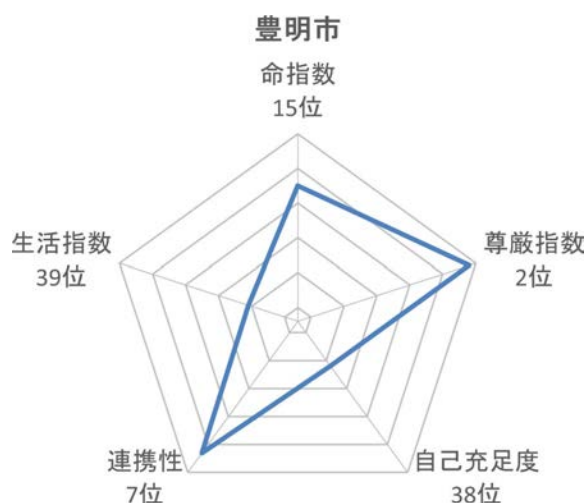
総評: 命指数15位、生活指数39位に比べ、尊厳指数2位が極めて高い。住民の自己充足度38位は中位だが、社会的連携7位が強い。

トップクラス: 災害の死者・行方不明者数1、医師の数1、自然災害による住居被害1、公共施設の耐震化率1、不就学の可能性がある外国人の子ども数1

課題が大きい指標: メタボ健診率54、子どもの医療費補助49、高齢者用施設数49、防災会議の女性の割合45、指定文化財の件数45

自治体の魅力のアピール: 文字ばかりで情報が読みにくい。移住支援の情報が見つけにくい。「就職・退職」のイラストは男性が手前で、女性が後ろ。

取り組み課題: 市民の健康増進、子どもの医療費支援、高齢者施設の整備、女性の地位向上



30. 日進市（尾張） 総合指数2位 9万3643人

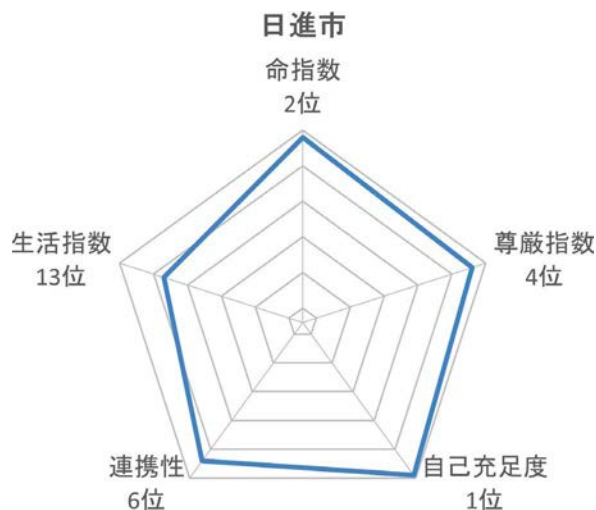
総評: 命指数2位、生活指数13位、尊厳指数4位と全てが高い。住民の自己充足度1位が最も高く、社会的連携6位も強い。

トップクラス: 平均寿命（男性）1、災害の死者等数1、自然災害による住居被害1、ケースワーカー担当世帯数1、公共施設の耐震化率1、不就学の可能性がある外国人の子ども数1

課題が大きい指標: 国民健康保険料納付額48、教員あたり小学校児童数51、自動車保有台数49、中小企業若手経営者に占める女性の割合54、指定文化財件数54、お祭りなど地域催事の数54

自治体の魅力のアピール: 文字が多くて少し読みにくい。移住に関する情報が少ない。父親向けの育児情報が充実している。

取り組み課題: 失業対策、小学校教員の拡充、子ども施策の充実、女性の地位向上、地域文化の振興、国際化



31. 田原市（東三河） 総合指数4位 人口5万9229人

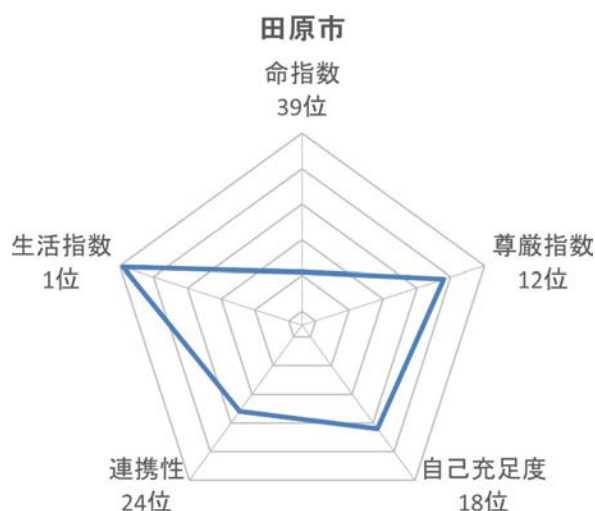
総評:生活指数1位が最も高く、尊厳指数12位も高いが、命指数39位はやや低い。自己充足度18位、社会的連携24位ともに中位。

トップクラス:一人あたり医療費1、国民年金保険料の免除1、農漁業生産高1、失業率3、女性就業者の割合1、障がい者雇用率3、高齢者有業率1、就学援助受給率3、児童相談件数5、介護者の充足率1、犯罪認知件数4、子どもの虐待相談件数5

課題が大きい指標:人口増減率49、未婚率(男)50、世帯購買額53、女性正規雇用54、CO2の排出量52

自治体の魅力のアピール:十分な情報量があるが、文字ばかりで読みにくい。多言語対応の防災マップ、観光マップ、ゴミの捨て方ガイドなどが充実。

取り組み課題:人口対策、環境対策、女性の正規雇用



32. 愛西市（海部） 総合指数50位 人口6万1378人

総評:生活指数28位は中位だが、命指数48位、尊厳指数43位は低い。自己充足度28位は中位だが、社会的連携45位が弱い。

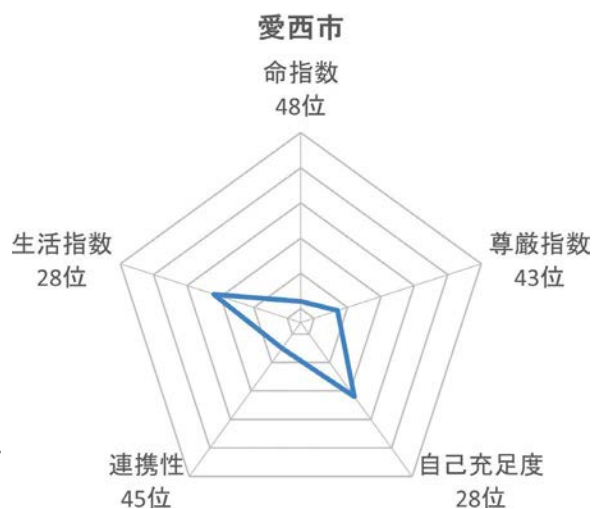
トップクラス:農漁業生産高6、高齢者有業率4、就学援助受給率3、こどもの居場所数7、防災会議の女性割合1

課題が大きい指標:出生率54、子どもの数47、生産年齢人口割合47、若年女性の流出率49、高齢化率49、自殺死亡者数48、自然災害の被害者数54、医師の数50、

一人あたり医療費45、世帯購買額50、失業率53、正規雇用者の割合49、財政力指数49、介護保険料48、未成年者の自殺率49

自治体の魅力のアピール:移住支援情報が少ない。観光に関する情報も少なく、アクセス方法が分かりにくい。自動翻訳に対応しているのは英語のみ。

取り組み課題:深刻化する少子高齢化、女性の正規雇用の機会、自己肯定感



33. 清須市（尾張）総合指数49位 人口6万8936人

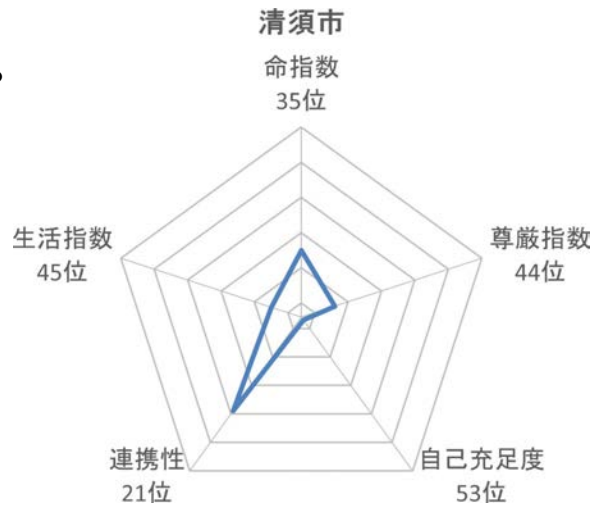
総評:命指数35位、生活指数45位、尊厳指数44位と全般的に低い。住民の自己充足度53位が極めて低い。社会的連携21位は中位。

トップクラス:若年女性の流出率4、自然災害の死者等の数1、就学援助の受給率3、介護保険料3、公共施設の耐震化率1

課題が大きい指標:平均寿命(女性)51、未婚率(女性)48、生活保護受給率48、要介護3以上の割合48、汚水処理率51、市町村管理職の女性の割合48、女性若手経営者の割合54、人生に満足していない人の割合54

自治体の魅力のアピール:就労、移住支援の情報量が乏しい。観光協会のサイトでは観光資源が魅力的に紹介されている。

取り組み課題:市民の健康の増進、汚水処理、ジェンダー平等、女性の地位向上、自己肯定感



34. 北名古屋市（尾張）総合指数39位 人口8万6181人

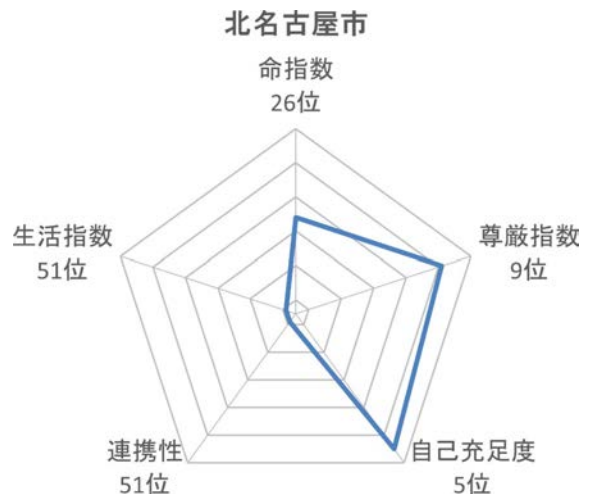
総評:尊厳指数9位は高いが、命指数26位、生活指数51位は低い。住民の自己充足度5位は高いが、社会的連携51位は弱い。

トップクラス:出生率6、若年女性の流出率7、市町村議会の女性議員の割合7、市町村管理職の女性の割合1、女性若手経営者の割合2

課題が大きい指標:災害の死者等の数52、子どもの虐待相談件数50、女性の自殺率49、自治会長に占める女性の割合54、地域催事の数54

自治体の魅力のアピール:子育て支援に力を入れていることが分かる。父親向けの特集ページもある。移住、就労に関する情報が見つけない。

取り組み課題:防災、子ども施策の充実(小学校教員の拡充、虐待の防止)、地域での女性の地位向上、地域文化の振興



35. 弥富市（海部） 総合指数30位 人口4万3779人

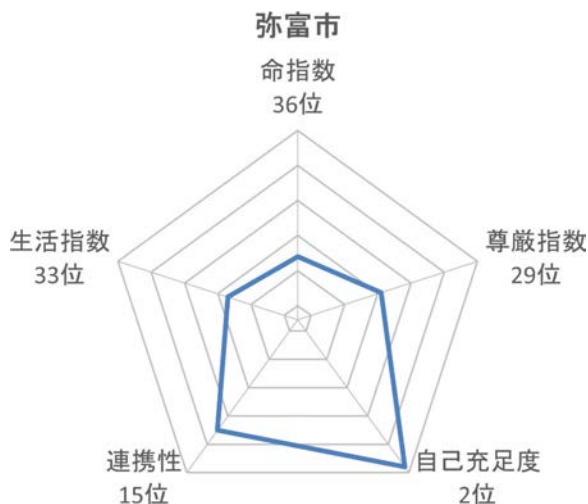
総評: 尊厳指数29位、命指数36位、生活指数33位とすべてやや低いが、自己充足度2位、社会的連携15位と主観的な住民の評価は高い。

トップクラス: 医師の数3、飲酒運転違反1、こどもの居場所数6、人生に不満足な人の割合5、人生の将来に悲観的な人の割合2

課題が大きい指標: 未婚率(女)45、交通事故死傷者数52、一人あたり医療費48、障がい者雇用率51、一人あたり教育費49、住宅の高齢者設備48、汚水処理率45、犯罪認知件数49、管理職の女性割合52、指定文化財46

自治体の魅力のアピール: 移住に関する情報が少ない。金魚を使った市独自のアピール。しかし観光を取り扱うページが探しにくく、画像が少ない。

取り組み課題: 子ども施策の充実(ひとり親世帯、自己肯定感の向上、教育費)、防犯



36. みよし市（西三河） 総合指数5位 人口6万1375人

総評: 命指数4位、生活指数6位、尊厳指数11位と全般的に高い。住民の主観的な自己充足度10位、社会的連携12位ともに高い。

トップクラス: 未婚率(女性)1、自然災害の死者等の数1、介護事業者の求人充足率1、自然災害による住居被害1、公共施設の耐震化率1、不就学の可能性がある外国人の子どもの数1

課題が大きい指標: 国民健康保険料納付額52、CO2排出量削減49、市議会の女性議員の割合53、女性自治会長の割合54、

指定文化財の件数52、お祭りなど地域催事の数54

自治体の魅力のアピール: 就労支援の情報は充実しているが移住支援の情報がない。文字が多い。外国人向けの防災マップがある。

取り組み課題: 雇用の拡大、ジェンダー平等の推進、地域文化の振興



37. あま市（海部） 総合指数53位 人口8万8613人

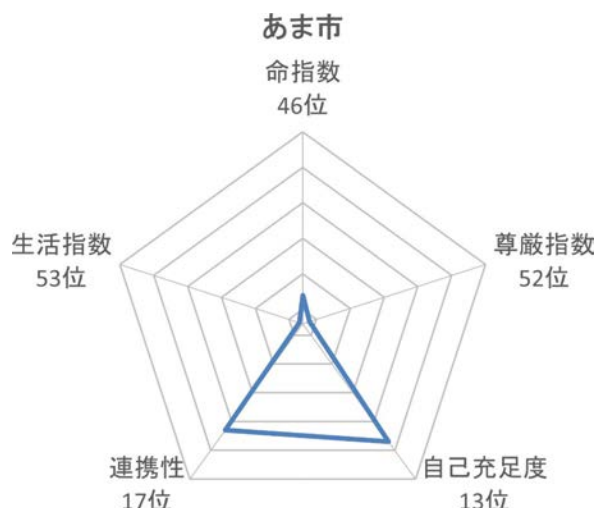
総評:命指数46位、生活指数53位、尊厳指数52位と極めて低く、一般的に課題が多い。自己充足度13位、社会的連携17位と主観的評価は良好。

トップクラス:ESD教育の取り組み7、CO2の排出量7、防災会議の女性割合8、人生の将来に悲観的な人の割合7

課題が大きい指標:平均寿命(男)54(女)48、自殺死亡者数50、子どもの医療費補助50、正規雇用者の割合50、女性正規雇用50、児童相談件数50、要介護認定者割合51、介護従事者数52、投票率52、女性議員割合49

自治体の魅力のアピール:妊娠中と出産後の支援情報が同じページ、必要情報を探しにくい。多くのイベント紹介。観光協会サイトへのアクセスが良い。

取り組み課題:市民の健康意識の促進、子ども施策の充実(医療、保護、教育)、正規雇用機会の創出、男女共同参画の強化



38. 長久手市（尾張） 総合指数3位 人口6万770人

総評:命指数1位、尊厳指数5位が極めて高いが、生活指数24位は中位。住民の自己充足度38位、社会的連携27位は中位。

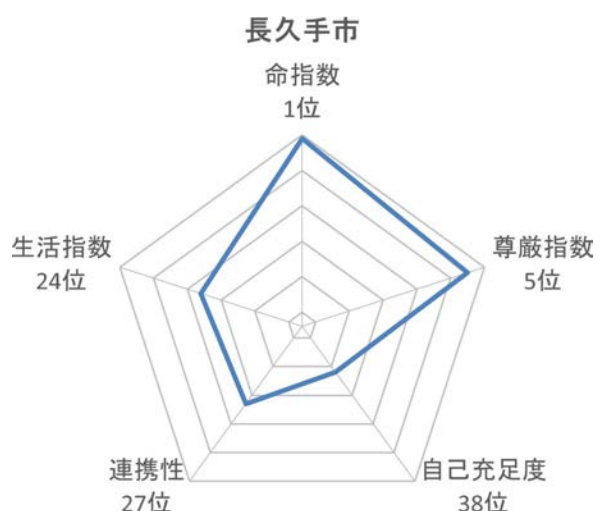
トップクラス:生産年齢人口(女性)1、未婚率(男性)1、高齢化率1、高齢単身世帯割合1、自然災害の死者等の数1、自然災害による住居被害1、公共施設の耐震化率1、不就学の可能性がある外国人の子どもの数1

課題が大きい指標:国民健康保険料納付額50、女性人口に占める就業者の割合49、教員一人あたりの児童

数53、中学生徒数53、自動車保有台数53、女性若手経営者の割合54、外国人人口49、技能実習生数49

自治体の魅力のアピール:就労支援の情報は充実しているが、移住に関する記載が少ない。育児や介護のために離職した女性向けの支援ページ。

取り組み課題:女性の地位向上、小中学校の教員の拡充、国際化



39. 東郷町（尾張） 総合指数21位 人口4万3903人

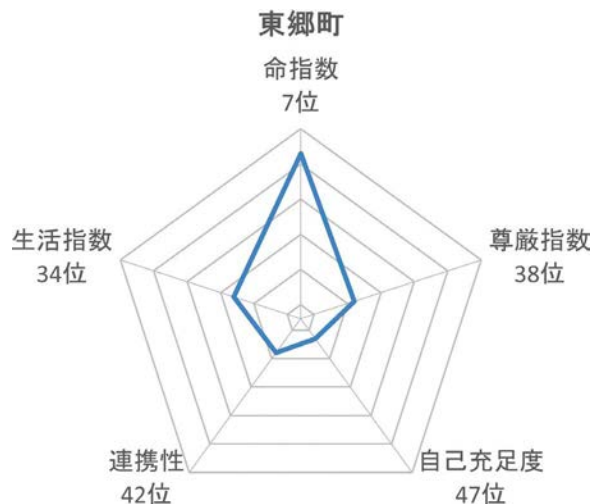
総評: 命指数7位は高いが、生活指数34位、尊厳指数38位は中位。住民の自己充足度47位、社会的連携42位は低い。

トップクラス: 未婚率（男性）4、災害の死者・行方不明者数1、就学援助の受給率3、公共施設の耐震化率1、飲酒運転違反件数1、未成年者の自殺率1、自治体の魅力のアピール3、不就学の可能性がある外国人の子ども数1

課題が大きい指標: 消防団員の充足率51、女性の自殺率52、女性中小企業若手経営者の割合54、お祭りなど地域催事の数54

自治体の魅力のアピール: 色や写真が効果的に使われており、ウェブサイトは見やすい。英語とポルトガル語のパンフレットがある。

取り組み課題: 交通安全、防災・減災、女性の地位向上、自殺の防止、地域文化の振興



40. 豊山町（尾張） 総合指数36位 人口1万871人

総評: 命指数は26位と中位。生活指数49位は低位だが、尊厳指数9位は高い。住民の自己充足度6位は高いが、社会的連携37位は中位。

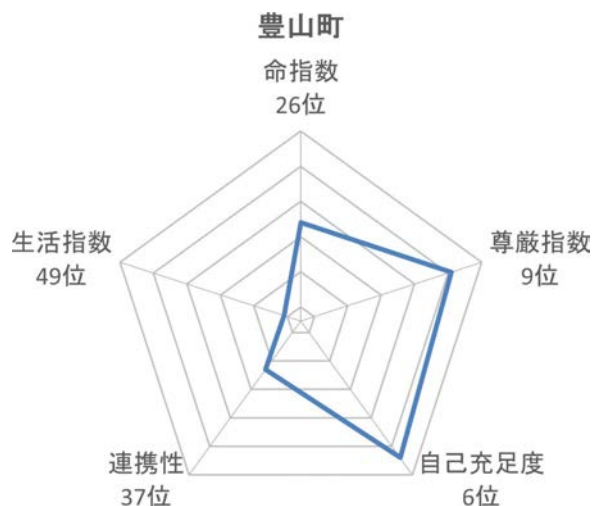
トップクラス: 災害の死者等の数1、公共施設の耐震化率1、未成年者の自殺率1、不就学の可能性がある外国人の子ども数1、日本語指導が必要な子どもの数1、外国人が増えることを歓迎する者の割合1

課題が大きい指標: 診療所数52、正規雇用の割合52、児童相談件数53、要介護3以上の割合53、介護従事者数53、再生可能エネルギーの発電量52、子どもの虐待相談件数53、

女性の自殺率54、女性若手経営者の割合54、地域催事の数54

自治体の魅力のアピール: 就労や移住に関する情報が少なく、情報があるページまでのアクセスもわかりにくい。

取り組み課題: 医療の充実、正規雇用、介護サービスの充実、再生可能エネルギー、女性の地位向上、自己肯定感の向上、地域文化の振興



41. 大口町（尾張） 総合指数18位 人口2万4234人

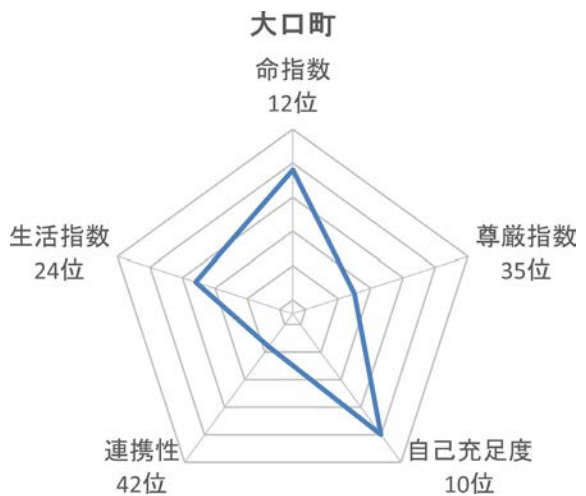
総評: 命指数12位に比べ、生活指数24位、尊厳指数35位が中位、住民の自己充足度10位は高いが、社会的連携42位と弱い。

トップクラス: 災害の死者等の数1、要介護認定者割合1、介護従事者数1、耐震化率1、飲酒運転違反件数1、女性の自殺率1

課題が大きい指標: 交通事故死傷者数53、小中学校のICT教育53、CO2排出量削減51、避難所の収容人口49、防災会議の女性の割合54、自治会長に占める女性の割合54、女性若手経営者の割合54、お祭りなど地域催事の数54

自治体の魅力のアピール: 観光資源が少ないこともあり情報量が少ない。防災情報が多言語で書かれている。

取り組み課題: 小中学校のICT教育、CO2排出量削減、防災・減災、女性の地位向上、地域文化の振興



42. 扶桑町（尾張） 34位 人口3万4952人

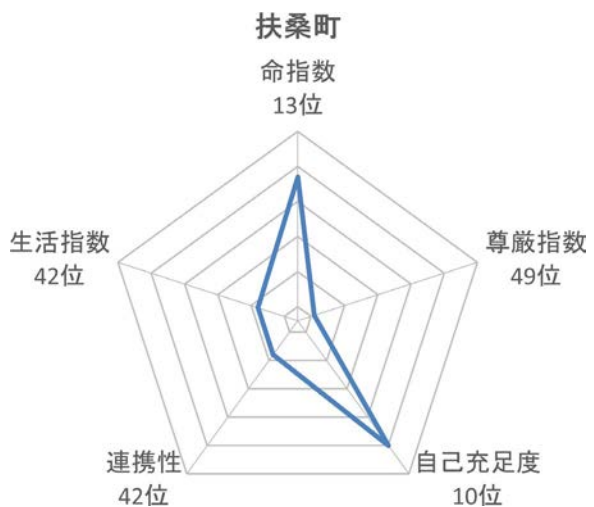
総評: 命指数13位に比べ、生活指数42位、尊厳指数49位は低い。住民の自己充足度10位は高いが、社会的連携42位は弱い。

トップクラス: 災害の死者等の数1、就学援助の受給率3、CO2排出量削減1、空き家率1、公共施設の耐震化率1

課題が大きい指標: 介護従事者数51、自然災害の住居被害50、女性自殺率51、女性自治会長の割合54、女性経営者の割合54、地域催事の数54

自治体の魅力のアピール: 情報は読みやすいが、移住に関連する情報があまり整理されていない印象。観光に関する情報が少ない。

取り組み課題: 介護サービスの充実、防災・減災、女性の地位向上、自殺の防止、地域文化の振興、国際化



43. 大治町（海部） 総合指数51位 人口3万3372人

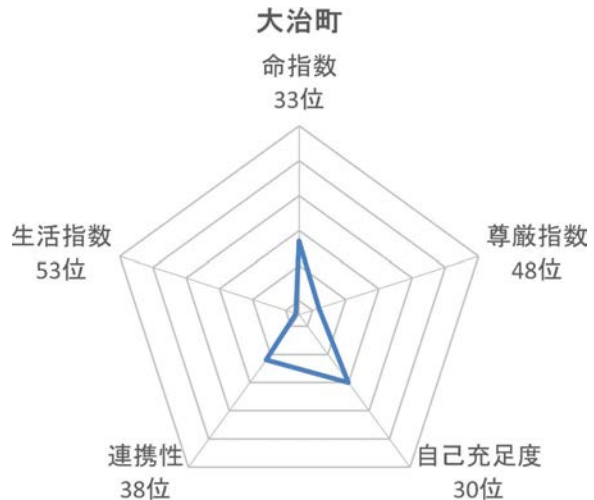
総評: 命指数33位は中位だが、生活指数53位、尊厳指数48位が極めて低い。自己充足度30位、社会的連携38位はほぼ中位。

トップクラス: 人口増減率2、出生率4、一人あたり医療費4、消防団員の充足率1、未成年者の自殺率1、男性職員の育児休業取得率1

課題が大きい指標: 平均寿命(男)50(女)53、診療所数54、医師の数54、メタボ検診50、子どもの医療費補助51、地域再生計画認定数54、児童相談件数54、高齢者用施設数54、自治体の魅力のアピール50、公民館数52

自治体の魅力のアピール: 移住・就労に関する情報が少なく、移住情報へのアクセスが分かりにくい。英語で防災に関する情報をまとめたページ。

取り組み課題: 市民の健康意識の促進、医療環境の改善、子ども・高齢者施策の充実



44. 蟹江町（海部） 総合指数43位 人口3万7065人

総評: 生活指数38位は中位だが、命指数41位、尊厳指数45位が低い。自己充足度30位、社会的連携38位はほぼ中位。

トップクラス: 国民年金保険料の免除7、女性正規雇用7、災害の住宅被害1、消防団員の充足率1、こどもの居場所数5

課題が大きい指標: 未婚率(男)53(女)52、自殺死亡者数47、一人あたり医療費51、障がい者雇用率45、生活保護受給率52、介護従事者数48、犯罪認知件数50、子どもの虐待相談件数46、未成年者の自殺率53

自治体の魅力のアピール: HPの情報量が少ない。情報が新着順のため、必要とする情報を探しにくい。写真を多数使用した「移住・定住ガイドブック」。

取り組み課題: 子ども施策の充実(ひとり親世帯の子供、保護)、自殺予防・自己肯定感の向上、障がい者雇用率、防犯



45. 飛島村（海部）総合指数16位 人口4638人

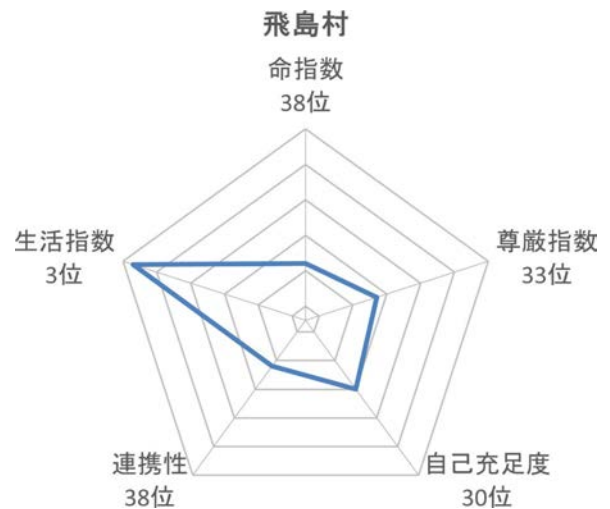
総評:生活指数3位が極めて高いが、命指数38位、尊厳指数33位に課題。自己充足度30位、社会的連携38位はほぼ中位。

トップクラス:ひとり親世帯の子供の割合1、診療所数4、住民所得1、失業率4、高齢者有業率2、財政力指数1、生活保護受給率1、介護従事者数1、こどもの居場所数2、未成年者の自殺率1、女性の自殺率1

課題が大きい指標:自殺死亡者数52、交通事故死傷者数54、地域再生計画認定数53、女性正規雇用51、障がい者雇用率53、CO2の排出量54

自治体の魅力のアピール:村職員の募集情報以外の就労支援は見当たらない。子育てガイドブックを「出産・子育て」ページのトップに掲載。

取り組み課題:市民の健康意識の向上、交通安全、環境への対策、正規雇用機会の創出



46. 阿久比町（知多）総合指数33位 人口2万8346人

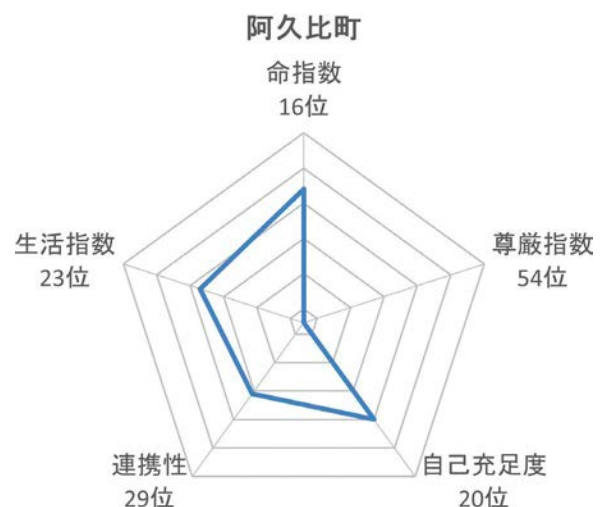
総評:命指数16位、生活指数23位は良いが、尊厳指数54位が最も低く、課題が多い。自己充足度20位、社会的連携29位は中位。

トップクラス:子どもの数1、ひとり親世帯の子供の割合4、ESD教育の取り組み2、住宅の高齢者設備1、

課題が大きい指標:生産年齢人口割合48、交通事故死傷者数51、子どもの医療費補助52、女性就業者の割合52、高齢者有業率51、財政力指数45、消防団員の充足率50、未成年者の自殺率52、男性職員の育児休業取得率46、お祭りなど催事数48

自治体の魅力のアピール:「町の紹介」で、自然、アクセス、施策など町の魅力を理解しやすい。文字情報が詰め込まれているため読みにくい。

取り組み課題:子ども施策の充実（医療費補助、自己肯定感の向上）、雇用機会の創出、高齢者有業率、消防団員の充足率、男性職員の育児休業取得



47. 東浦町（知多）総合指数19位 人口5万233人

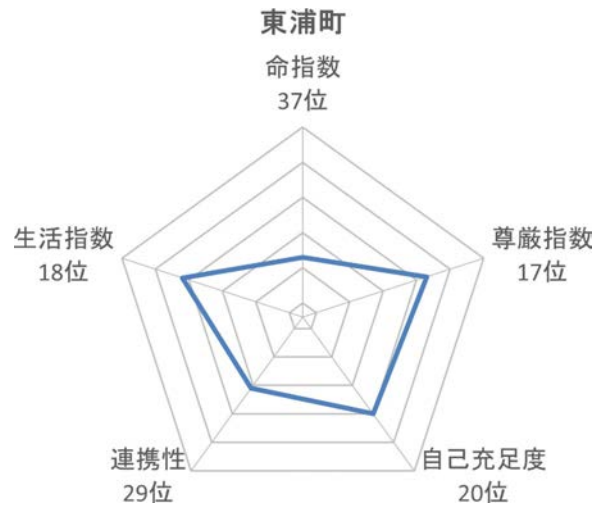
総評:命指数37位を除き、生活指数18位、尊厳指数17位は良好。住民の自己充足度20位、社会的連携29位も同様に中位。

トップクラス:メタボ検診3、児童養護施設の数4、ユネスコスクール5、介護保険料8、女性の自殺率1、女性議員の割合4

課題が大きい指標:診療所数51、医師の数52、子どもの医療費補助52、高齢者有業率46、1人あたり教育費50、要介護認定者割合49

自治体の魅力のアピール:ホームページの行間が狭く読みにくい、情報を探しやすい。自動翻訳は5言語に対応。4言語に対応した防災マップ。

取り組み課題:医療施設・環境の拡充、子ども施策の充実（医療福祉、教育費）、高齢者雇用



48. 南知多町（知多）総合指数52位 人口1万6122人

総評:生活指数30位は中位だが、尊厳指数は47位、命指数は53位と低い。住民の自己充足度20位、社会的連携29位は中位。

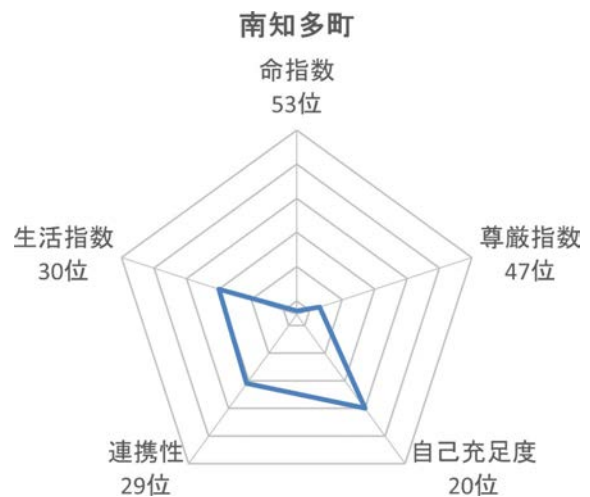
トップクラス:交通事故死傷者数2、国民年金保険料の免除2、女性就業者の割合2、障がい者雇用率5、児童相談件数1、子どもの虐待相談件数2、未成年者の自殺率1、技能実習生数2

課題が大きい指標:平均寿命(男)53、人口増減率52、出生率50、子どもの数51、未婚率(男)53、若年女性の流出率50、高齢化率51、メタボ検診53、空き家率50

正規雇用者割合51、女性正規雇用53、財政力指数51、要介護3以上の割合54、汚水処理率54

自治体の魅力のアピール:子育て支援教室や移住情報が分かりやすい。観光協会のサイトへのリンクが見つけない。

取り組み課題:深刻化する少子高齢化、健康意識、交通安全



49. 美浜町（知多）総合指数43位 人口2万980人

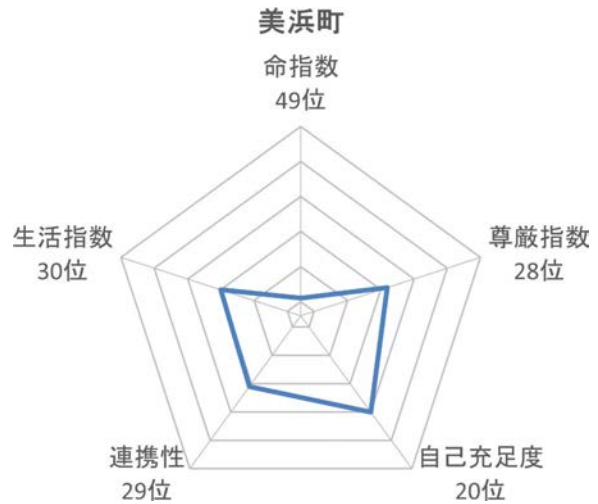
総評：生活指数30位、尊厳指数28位は中位。命指数49位が低い。住民の自己充足度20位、社会的連携29位は中位。

トップクラス：ユネスコスクール2、消防団員の充足率1、子どもの虐待相談件数4、未成年者の自殺率1、

課題が大きい指標：出生率53、子どもの数50、診療所数53、医師の数51、子どもの医療費補助54、正規雇用者の割合54、汚水処理率53、

自治体の魅力のアピール：行間が狭く読みにくい。「教育・子育て」のカテゴリ分けがなく、必要な情報を探しにくい。外部サイトで、移住者のインタビューや観光資源を紹介。

取り組み課題：少子高齢化、医療環境・施設の拡充、子ども施策の強化



50. 武豊町（知多）総合指数38位 人口4万3303人

総評：命指数28位、生活指数36位は中位だが、尊厳指数50位は極めて低く、課題が多い。住民の自己充足度20位、社会的連携29位は中位。

トップクラス：交通事故死傷者数4、小中学校のICT環境1、要介護認定者割合4、要介護3以上の割合2、再生可能エネルギー発電量2

課題が大きい指標：平均寿命(男)46(女)50、診療所数50、高齢者有業率54、児童相談件数51、高齢者用施設数50、飲酒運転違反50、

子どもの虐待相談件数48、未成年者の自殺率54、女性の自殺率48

自治体の魅力のアピール：写真が多く町の紹介が分かりやすい。移住支援、就労支援の情報量が少ない。観光も情報量が少ない。自動翻訳は8言語。

取り組み課題：健康意識の促進、医療施設・環境の改善、市民の自己肯定感、子ども施策の強化



51. 幸田町（西三河）総合指数7位 人口4万2191人

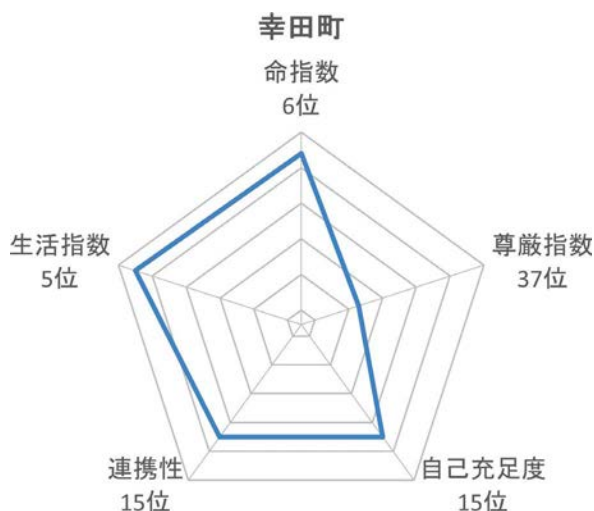
総評: 命指数6位、生活指数5位は高いが、尊厳指数37位が低い。住民の自己充足度、社会的連携はいずれも15位。

トップクラス: 人口増減率1、自殺死者数1、交通事故死傷者数3、自然災害の死者等の数、汚水処理率1、消防団員の充足率1、空き家率2、耐震化率1、不就学外国人児童の数1

課題が大きい指標: 運動実践者（男性）51、運動実践者（女性）51、小中学校のICT教育54、一人あたりCO2排出量50、自治体の魅力アピール52、公民館数50

自治体の魅力のアピール: 町が独自に力を入れている事業がわかるサイトが見当たらない。観光やイベントの情報は豊富だが、あまり見やすすくない。

取り組み課題: 交通安全、市民の健康増進、小中学校のICT教育推進、CO2排出量削減、ジェンダー平等の推進、公民館の整備



52. 設楽町（東三河）総合指数48位 人口4265人

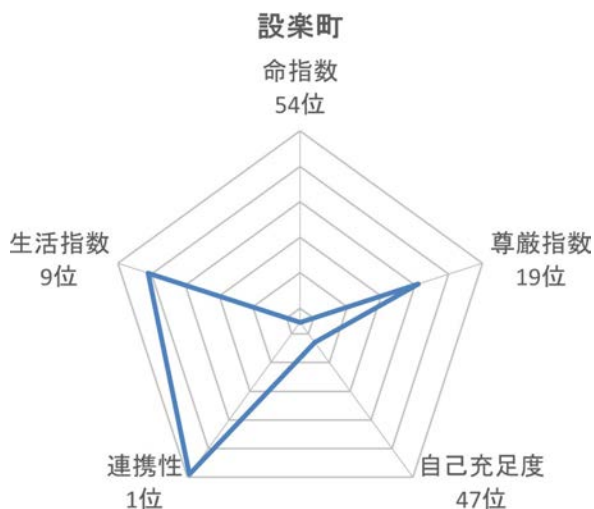
総評: 生活指数9位が高く、尊厳指数19位も良好。命指数54位は最も低い。住民の自己充足度47位も低いが、社会的連携1位は最も強い。

トップクラス: 農漁業生産高2、失業率2、障がい者雇用率1、高齢者用施設数3、避難所の収容人口2、未成年者の自殺率1、女性の自殺率1、指定文化財1、催事数3

課題が大きい指標: 人口増減率53、子どもの数54、未婚率（男）54、若年女性の流出率52、高齢化率53、高齢単身世帯割合52、自殺死亡者数51、女性正規雇用52、消防団員の充足率53、飲酒運転違反54、人生の将来に悲観的な人の割合52

自治体の魅力のアピール: 「町民時計」で、1分ごとに変わる町民が撮影した写真を通じて町の魅力を紹介。就労、移住支援情報が少ない。

取り組み課題: 深刻な少子高齢化、住民の自己肯定感、交通安全意識



53. 東栄町（東三河）総合指数35位 人口2840人

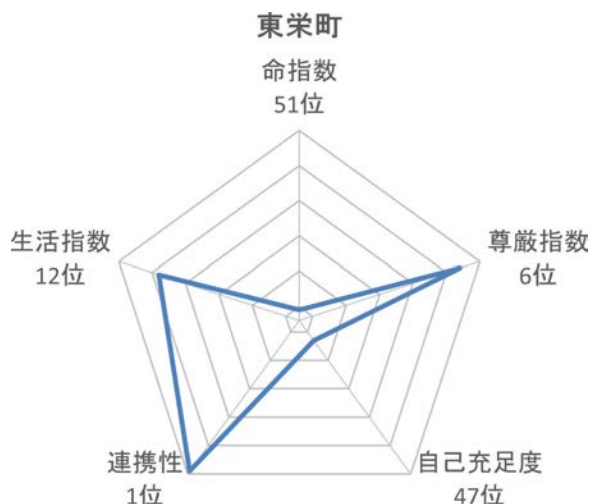
総評: 尊厳指数6位が高く、生活指数12位も良好だが、命指数51位が極めて低い。住民の自己充足度47位も低い。住民の自己充足度47位も低い。社会的連携1位は最も強い。

トップクラス: 交通事故死傷者数5、飲酒運転違反1、犯罪認知件数2、子どもの虐待相談件数1、未成年者の自殺率1、女性の自殺率1、指定文化財1、お祭りなど催事数2

課題が大きい指標: 人口増減率54、生産年齢人口割合(男)54(女)53、若年女性の流出率53、高齢化率52、高齢単身世帯割合54、自殺死亡者数53、人生の将来に悲観的な人の割合52

自治体の魅力のアピール: ページの見出しが文章で、知りたい情報を見つけにくい。自転車を使った観光の紹介が映像つきで、分かりやすい。

取り組み課題: 深刻な少子高齢化、住民の自己肯定感、交通安全意識



54. 豊根村（東三河）総合指数31位 人口975人

総評: 生活指数2位、尊厳指数8位は高いが、命指数52位が極めて低く、課題が大きい。住民の自己充足度47位も低い。社会的連携1位は最も強い。

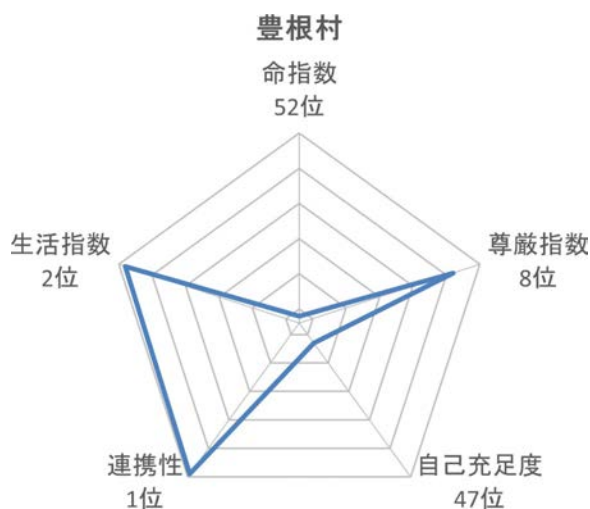
トップクラス: 交通事故死傷者数1、メタボ検診1、失業率1、飲酒運転違反1、犯罪認知件数1、未成年者自殺率1、女性自殺率1、投票率1、指定文化財1、公民館数1、お祭り催事数1

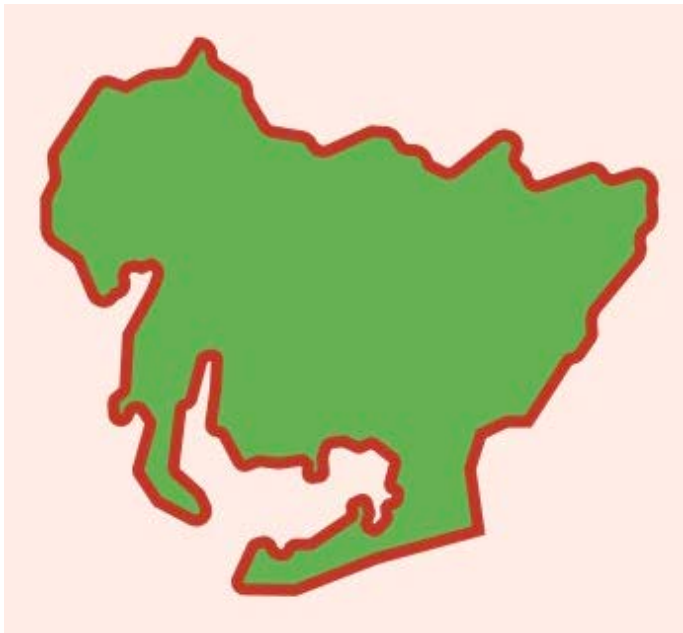
課題が大きい指標: 子どもの数53、生産年齢人口割合(男)53(女)54、未婚率(女)54、若年女性の流出率54、高齢化率54、自殺死亡者数54、

障がい者雇用率54、女性議員の割合54、管理職の女性割合54、人生の将来に悲観的な人の割合52

自治体の魅力のアピール: 充実した子育て支援情報が分かりやすい。就労支援情報は少ないが、移住定住に関する情報は充実。観光資源が画像付き。

取り組み課題: 深刻な少子高齢化、自己肯定感の向上、女性登用、交通安全





このプロジェクトには、愛知県庁・教育委員会を始め県内各自治体、(株) True Data (購買に関わるビッグデータ)、名城大学宮下大夢准教授ゼミの学生を始め、多数の研究者、市民団体のご協力を得たことに感謝申し上げます。本研究は、中部大学「問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点 IDEAS 202324」の助成を受けたものです。

データで見る「誰も取り残されない愛知」のための愛知県の人間の安全保障指標
発行：2024年2月
本資料を引用する際は、NPO名を記載するようお願いします。

©NPO法人「人間の安全保障」フォーラム



理事長 高須幸雄
事務局長 宮下大夢
headquarters@hsf.jp

